

令和7年度

龍ヶ崎市消防団の実態に関する
アンケート調査報告書（1回目）



目 次

| | |
|-----------------------------------|----|
| I. 調査の概要 | 1 |
| 1. 調査の概要 | 2 |
| II. 消防団員アンケート調査結果【1回目】 | 4 |
| 1. 基本情報（回答者の属性） | 5 |
| 2. 消防団員の感想について | 10 |
| 3. 消防団活動について | 15 |
| 4. 消防団の組織について | 24 |
| 5. 今後の消防団について | 26 |
| 6. 操法について | 32 |
| 7. 消防団応援の店制度・消防団協力事業所制度について | 41 |
| 8. 消防団機庫について | 47 |
| 9. 消防団に対する支援で期待すること | 52 |
| III. 消防団員アンケート調査結果【2回目】 | 60 |
| 1. 消防団応援の店制度について | 61 |

I. 調査の概要

1. 調査の概要

(1) 目的

龍ヶ崎市では、より良い消防団活動の構築を目指して、消防団員の活動に関する問題点やご意見を伺うため、アンケート調査を実施しました。

(2) 調査期間

| | 調査期間 |
|-------|---------------------------|
| 1回目調査 | 令和7年8月26日(火)～令和7年9月12日(金) |
| 2回目調査 | 令和8年1月19日(月)～令和8年2月6日(金) |

(3) 調査対象者

龍ヶ崎市消防団員全員に、調査票を郵送いたしました。

また、1回目調査については、同時にWebアンケート調査も実施しました。

(4) 配布数及び回収数

| | 配布数 | 回収数 | 回収率 |
|-------|------|----------------------------------|--------------------------------------|
| 1回目調査 | 410件 | 187件 (郵送：60件) (Web回答：127件) | 45.6% (郵送：14.6%) (Web回答：31.0%) |
| 2回目調査 | 414件 | 120件 | 29.0% |

(5) 報告書の見方

- ・本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。
- ・本報告書では、回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は「非該当」として扱います。
- ・設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（%）で示しています。したがって、非該当者数は、構成比に含まれません。
- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第二位を四捨五入し算出しているため合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答については、回答者数を基数として百分率（%）で示しています。したがって、合計値が100%にならない場合もあります。
- ・本報告書では、回答合計の表記を単一（○は一つ）回答は「合計」、複数（○はいくつでも）回答は「回答者数」としています。非該当処理が含まれる設問は「回答者数」と表記しています。また、割合を設定している項目名について、単一回答は「構成比」、複数回答は「比率」と表記しています。

・方面隊別クロス集計では、分団を下記表のとおり振り分けています。

【分団振り分け表】

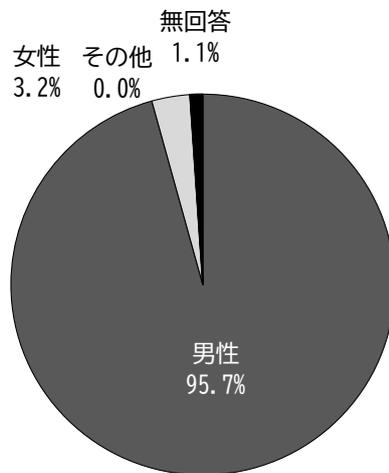
| 分団 | 方面隊 | 人数 |
|--------|-----------|----|
| 第1分団 | 第1方面隊 | 52 |
| 第2分団 | | |
| 第3分団 | | |
| 第4分団 | | |
| 第5分団 | 第2方面隊 | 69 |
| 第6分団 | | |
| 第7分団 | | |
| 第8分団 | 第3方面隊 | 39 |
| 第9分団 | | |
| 第10分団 | | |
| 第11分団 | 第11分団（女性） | 6 |
| 市役所隊 | 市役所・JA竜ヶ崎 | 16 |
| JA竜ヶ崎隊 | | |
| 消防団本部 | 本部 | 5 |

Ⅱ. 消防団員アンケート調査結果 【1回目】

1. 基本情報（回答者の属性）

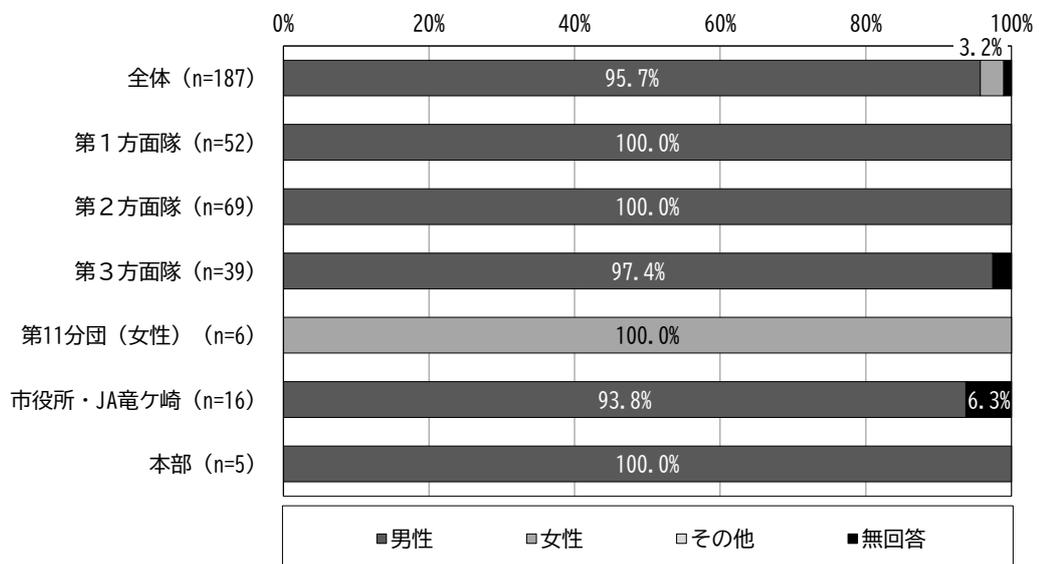
問1 あなたの性別を教えてください。（○は1つ）

性別については、「男性」が95.7%、「女性」が3.2%となっています。



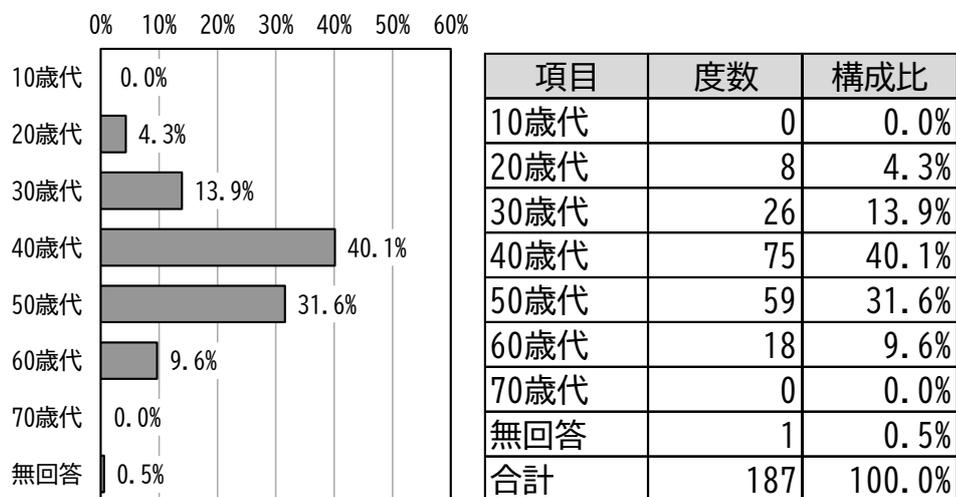
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----|-----|--------|
| 男性 | 179 | 95.7% |
| 女性 | 6 | 3.2% |
| その他 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 2 | 1.1% |
| 合計 | 187 | 100.0% |

【方面隊別クロス集計】

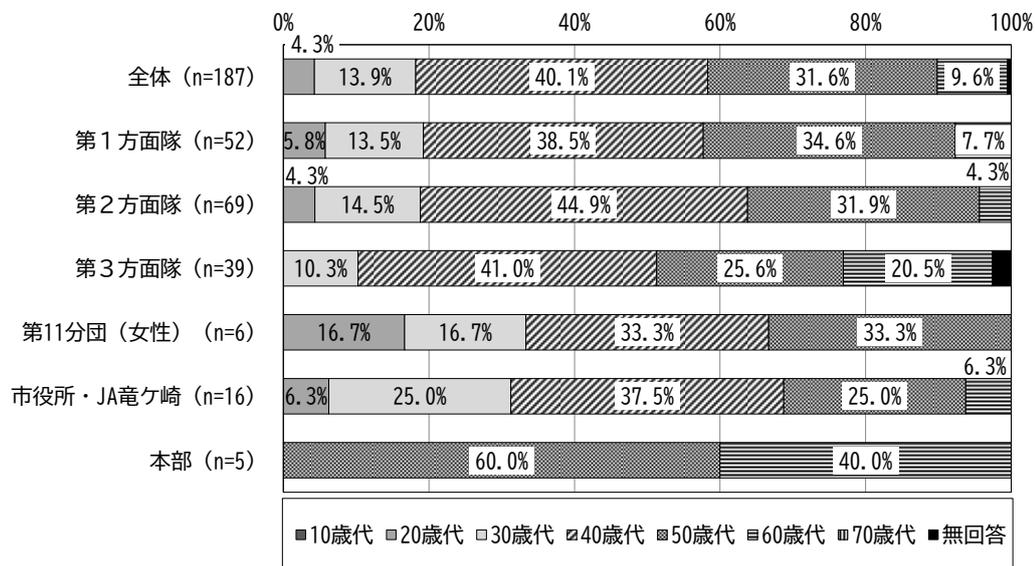


問2 あなたの年齢を教えてください。(〇は1つ)

年齢については、「40歳代」が40.1%と最も多く、次いで、「50歳代」が31.6%、「30歳代」が13.9%となっています。

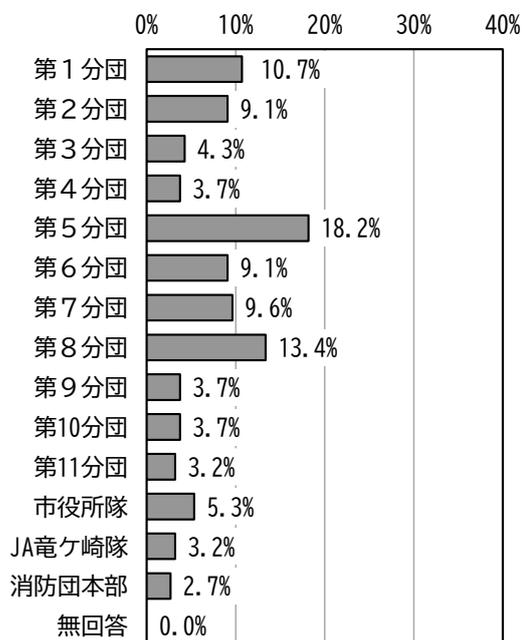


【方面隊別クロス集計】



問3 あなたの所属する分団を教えてください。(〇は1つ)

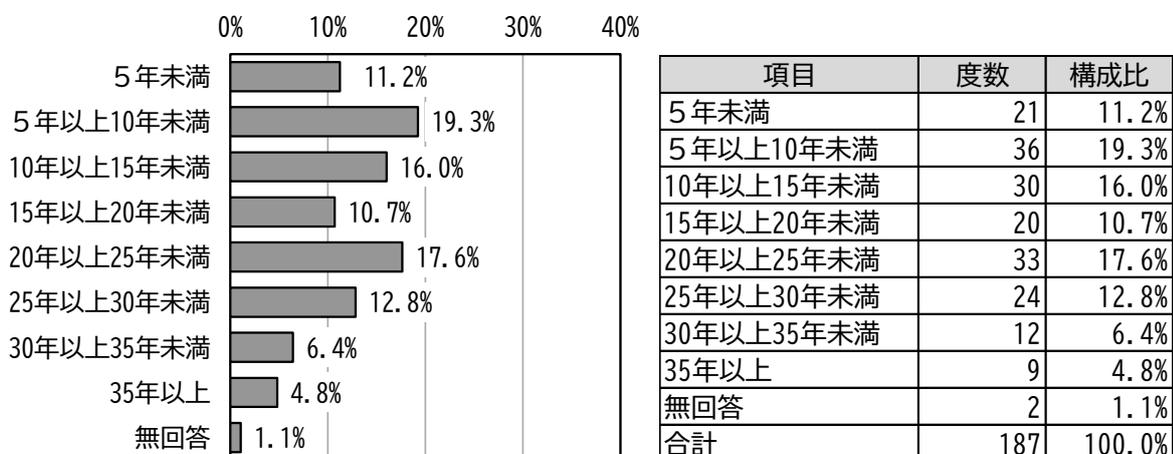
所属する分団については、「第5分団」が18.2%と最も多く、次いで、「第8分団」が13.4%、「第1分団」が10.7%となっています。



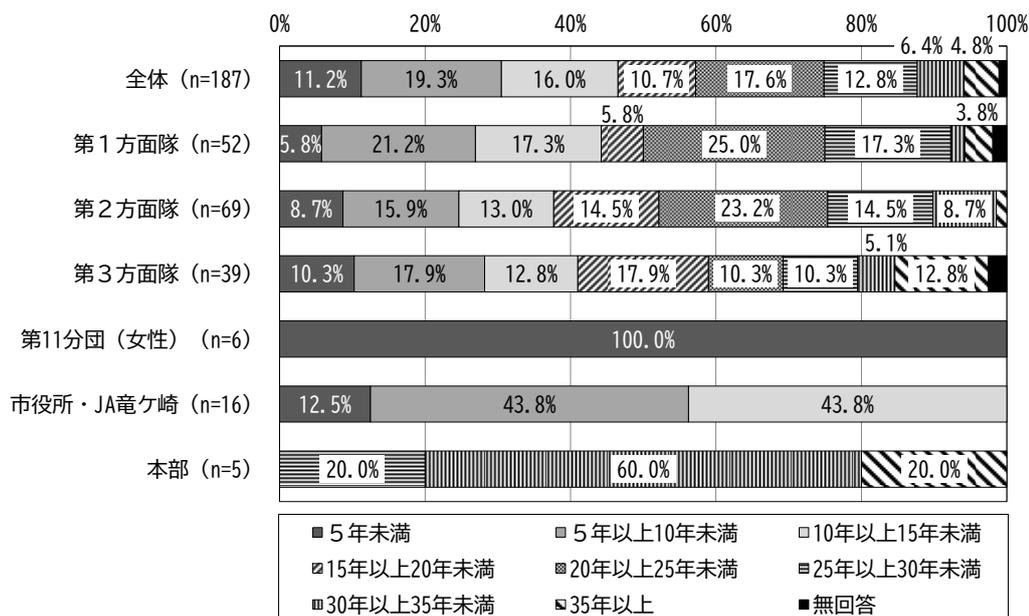
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|--------|-----|--------|
| 第1分団 | 20 | 10.7% |
| 第2分団 | 17 | 9.1% |
| 第3分団 | 8 | 4.3% |
| 第4分団 | 7 | 3.7% |
| 第5分団 | 34 | 18.2% |
| 第6分団 | 17 | 9.1% |
| 第7分団 | 18 | 9.6% |
| 第8分団 | 25 | 13.4% |
| 第9分団 | 7 | 3.7% |
| 第10分団 | 7 | 3.7% |
| 第11分団 | 6 | 3.2% |
| 市役所隊 | 10 | 5.3% |
| JA竜ヶ崎隊 | 6 | 3.2% |
| 消防団本部 | 5 | 2.7% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 187 | 100.0% |

問4 あなたの消防団在籍年数を教えてください。(○は1つ)

消防団の在籍年数については、「5年以上10年未満」が19.3%と最も多く、次いで、「20年以上25年未満」が17.6%、「10年以上15年未満」が16.0%となっています。

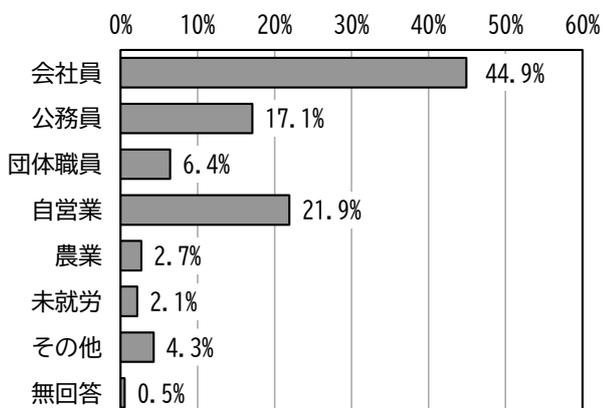


【方面隊別クロス集計】



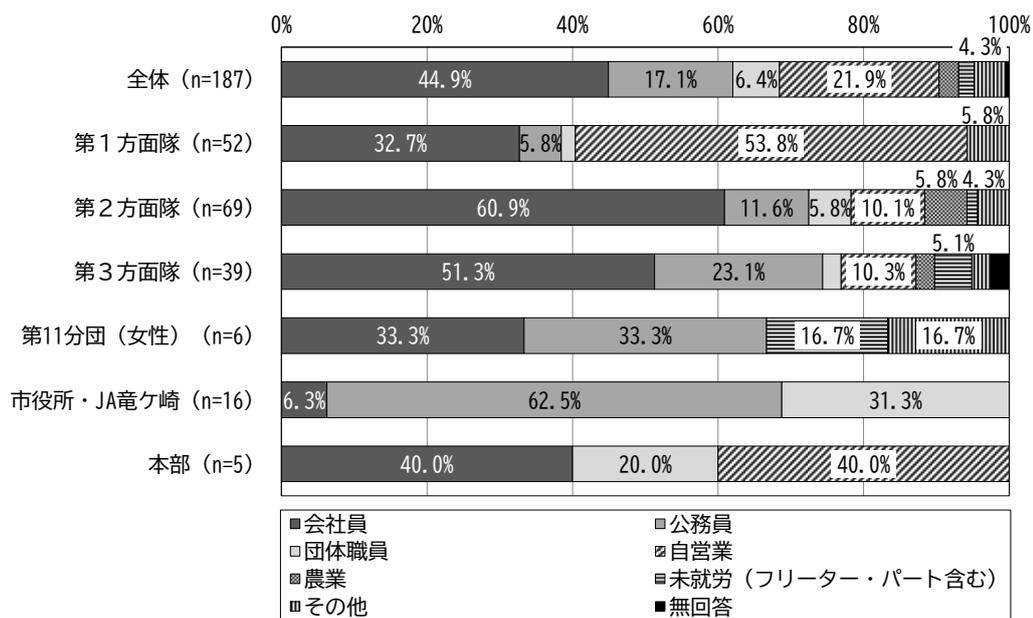
問5 あなたのご職業を教えてください。(〇は1つ)

職業については、「会社員」が44.9%と最も多く、次いで、「自営業」が21.9%、「公務員」が17.1%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------------|-----|--------|
| 会社員 | 84 | 44.9% |
| 公務員 | 32 | 17.1% |
| 団体職員 | 12 | 6.4% |
| 自営業 | 41 | 21.9% |
| 農業 | 5 | 2.7% |
| 未就労 (フリーター・パート含む) | 4 | 2.1% |
| その他 | 8 | 4.3% |
| 無回答 | 1 | 0.5% |
| 合計 | 187 | 100.0% |

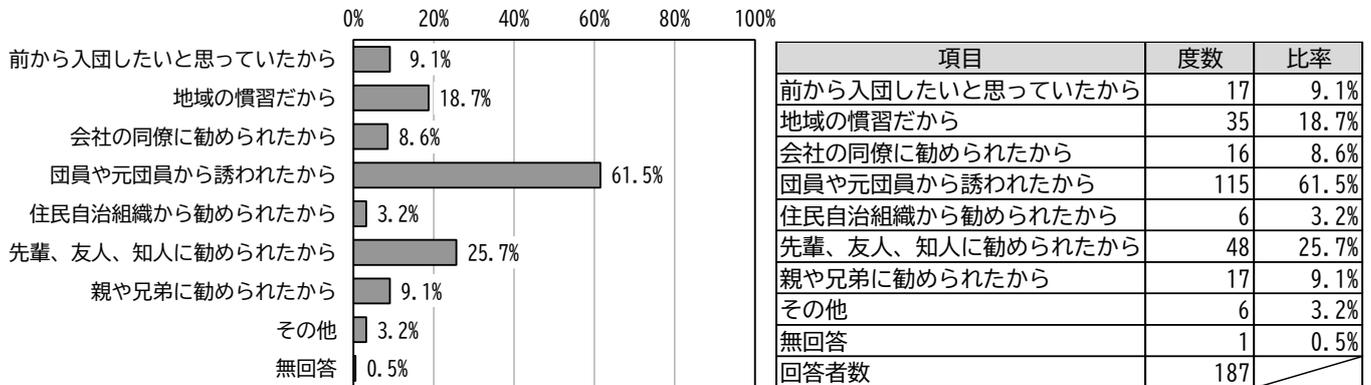
【方面隊別クロス集計】



2. 消防団員の感想について

問6 あなたが消防団に入団した動機は次のどれですか。(複数選択可)

消防団に入団した動機については、「団員や元団員から誘われたから」が61.5%と最も多く、次いで、「先輩、友人、知人に勧められたから」が25.7%、「地域の慣習だから」が18.7%となっています。



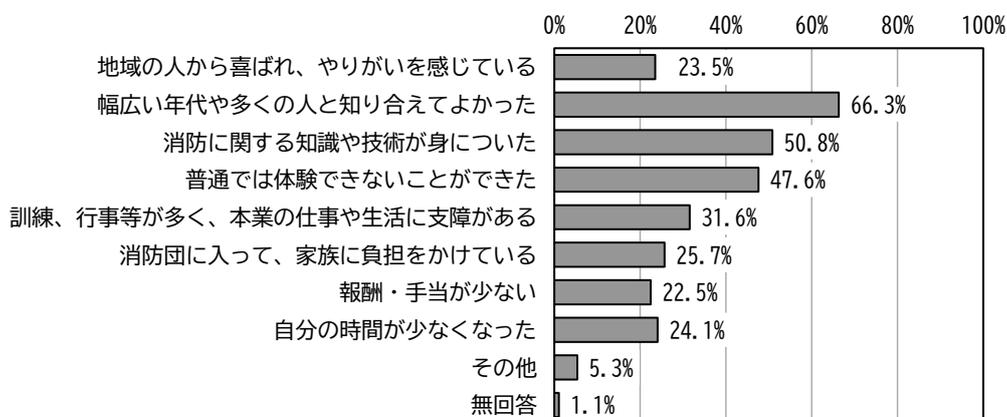
【方面隊別クロス集計】

(上段：度数、下段：比率)

| | | と前 | 地 | 会 | 誘 | 勧 | に | 勧 | そ | 無 | 回 |
|-----------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-----|
| | | 思 | 域 | 社 | わ | 住 | 先 | 親 | 他 | 回 | 答 |
| | | つ | の | の | わ | 民 | 先 | め | | 答 | 者 |
| | | ら | 慣 | 同 | れ | 自 | 輩 | め | | | 数 |
| | | い | 習 | 僚 | た | 治 | 、 | ら | | | |
| | | た | だ | に | か | 組 | 友 | に | | | |
| | | か | か | か | ら | 織 | 人 | か | | | |
| | | ら | ら | ら | ら | か | ら | ら | | | |
| 全体 | | 17 | 35 | 16 | 115 | 6 | 48 | 17 | 6 | 1 | 187 |
| | | 9.1% | 18.7% | 8.6% | 61.5% | 3.2% | 25.7% | 9.1% | 3.2% | 0.5% | |
| 方面隊別 | 第1方面隊 | 5 | 4 | 1 | 35 | 3 | 11 | 4 | 0 | 0 | 52 |
| | | 9.6% | 7.7% | 1.9% | 67.3% | 5.8% | 21.2% | 7.7% | 0.0% | 0.0% | |
| | 第2方面隊 | 2 | 21 | 4 | 47 | 2 | 19 | 8 | 3 | 0 | 69 |
| | | 2.9% | 30.4% | 5.8% | 68.1% | 2.9% | 27.5% | 11.6% | 4.3% | 0.0% | |
| | 第3方面隊 | 6 | 10 | 2 | 28 | 1 | 11 | 4 | 1 | 0 | 39 |
| | | 15.4% | 25.6% | 5.1% | 71.8% | 2.6% | 28.2% | 10.3% | 2.6% | 0.0% | |
| | 第11分団(女性) | 2 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| | 33.3% | 0.0% | 16.7% | 33.3% | 0.0% | 16.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 市役所・JA竜ヶ崎 | 2 | 0 | 8 | 2 | 0 | 5 | 0 | 1 | 0 | 16 | |
| | 12.5% | 0.0% | 50.0% | 12.5% | 0.0% | 31.3% | 0.0% | 6.3% | 0.0% | | |
| 本部 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 5 | |
| | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 20.0% | 0.0% | 20.0% | 20.0% | 20.0% | 20.0% | | |

問7 消防団に入団してあなたはどのような感想をお持ちですか。(複数選択可)

消防団に入団した感想については、「幅広い年代や多くの人と知り合えてよかった」が66.3%と最も多く、次いで、「消防に関する知識や技術が身についた」が50.8%、「普通では体験できなかった（消防車の運転など）」が47.6%となっています。



| 項目 | 度数 | 比率 |
|--------------------------|-----|-------|
| 地域の人から喜ばれ、やりがいを感じている | 44 | 23.5% |
| 幅広い年代や多くの人と知り合えてよかった | 124 | 66.3% |
| 消防に関する知識や技術が身についた | 95 | 50.8% |
| 普通では体験できなかった（消防車の運転など） | 89 | 47.6% |
| 訓練、行事等が多く、本業の仕事や生活に支障がある | 59 | 31.6% |
| 消防団に入って、家族に負担をかけている | 48 | 25.7% |
| 報酬・手当が少ない | 42 | 22.5% |
| 自分の時間が少なくなった | 45 | 24.1% |
| その他 | 10 | 5.3% |
| 無回答 | 2 | 1.1% |
| 回答者数 | 187 | |

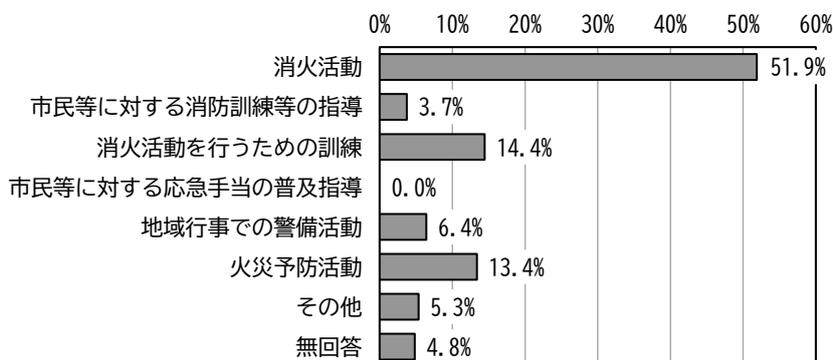
【方面隊別クロス集計】

(上段：度数、下段：比率)

| 方面隊別 | | 地域の人から喜ばれ、やりがいを感じている | 幅広い年代や多くの人と知り合えてよかった | 消防に関する知識や技術が身についた | （普通では体験できなかった）消防車の運転など | 訓練、行事等が多く、本業の仕事や生活に支障がある | 消防団に入って、家族に負担をかけている | 報酬・手当が少ない | 自分の時間が少なくなった | その他 | 無回答 | 回答者数 | | | | | | | | | | |
|------|-----------|----------------------|----------------------|-------------------|------------------------|--------------------------|---------------------|-----------|--------------|-----|-------|------|-------|----|-------|----|-------|----|-------|---|-------|-----|
| | | 度数 | 比率 | 度数 | 比率 | 度数 | 比率 | 度数 | 比率 | 度数 | 比率 | 度数 | 比率 | | | | | | | | | |
| 方面隊別 | 全体 | 44 | 23.5% | 124 | 66.3% | 95 | 50.8% | 89 | 47.6% | 59 | 31.6% | 48 | 25.7% | 42 | 22.5% | 45 | 24.1% | 10 | 5.3% | 2 | 1.1% | 187 |
| | 第1方面隊 | 15 | 28.8% | 40 | 76.9% | 24 | 46.2% | 24 | 46.2% | 17 | 32.7% | 14 | 26.9% | 11 | 21.2% | 11 | 21.2% | 6 | 11.5% | 1 | 1.9% | 52 |
| | 第2方面隊 | 8 | 11.6% | 47 | 68.1% | 31 | 44.9% | 27 | 39.1% | 24 | 34.8% | 20 | 29.0% | 16 | 23.2% | 20 | 29.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 69 |
| | 第3方面隊 | 15 | 38.5% | 24 | 61.5% | 24 | 61.5% | 21 | 53.8% | 14 | 35.9% | 13 | 33.3% | 9 | 23.1% | 13 | 33.3% | 3 | 7.7% | 3 | 0.0% | 39 |
| | 第11分団（女性） | 0 | 0.0% | 2 | 33.3% | 3 | 50.0% | 3 | 50.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 1 | 16.7% | 0 | 0.0% | 6 |
| | 市役所・JA竜ヶ崎 | 2 | 12.5% | 7 | 43.8% | 9 | 56.3% | 12 | 75.0% | 4 | 25.0% | 0 | 0.0% | 4 | 25.0% | 1 | 6.3% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 16 |
| | 本部 | 4 | 80.0% | 4 | 80.0% | 4 | 80.0% | 2 | 40.0% | 0 | 0.0% | 1 | 20.0% | 2 | 40.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 1 | 20.0% | 5 |

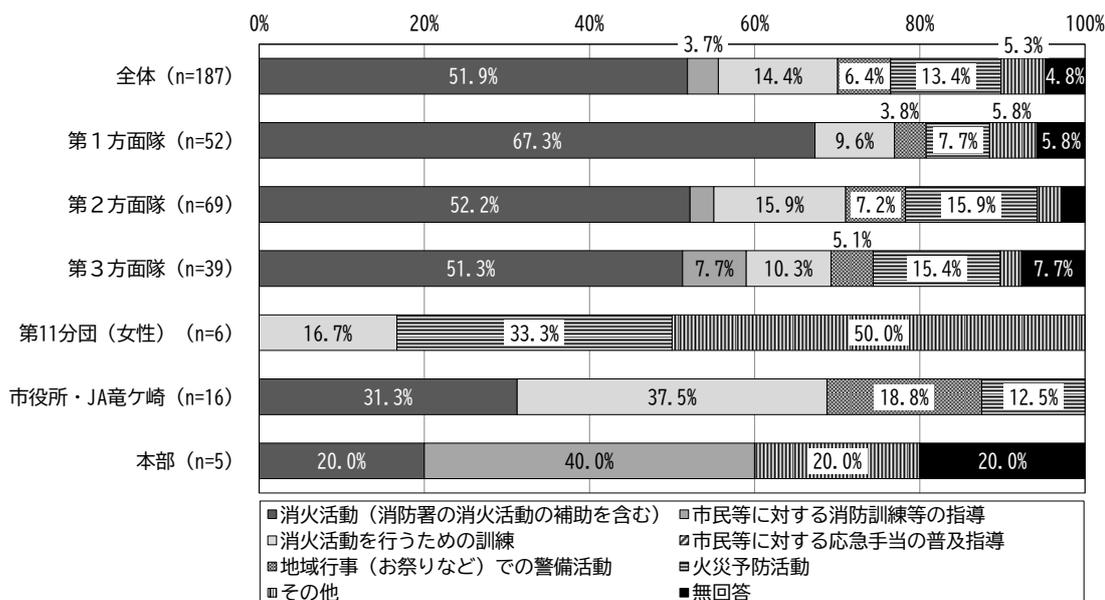
問8 あなたが消防団に入団して最もやりがいがあると思う活動や業務は次のどれですか。(○は1つ)

消防団に入団して最もやりがいがあると思う活動や業務については、「消火活動（消防署の消火活動の補助を含む）」が51.9%と最も多く、次いで、「消火活動を行うための訓練」が14.4%、「火災予防活動」が13.4%となっています。



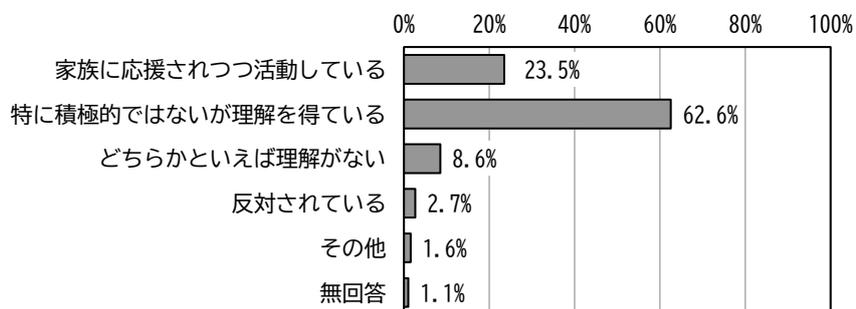
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|----------------------|-----|--------|
| 消火活動（消防署の消火活動の補助を含む） | 97 | 51.9% |
| 市民等に対する消防訓練等の指導 | 7 | 3.7% |
| 消火活動を行うための訓練 | 27 | 14.4% |
| 市民等に対する応急手当の普及指導 | 0 | 0.0% |
| 地域行事（お祭りなど）での警備活動 | 12 | 6.4% |
| 火災予防活動 | 25 | 13.4% |
| その他 | 10 | 5.3% |
| 無回答 | 9 | 4.8% |
| 合計 | 187 | 100.0% |

【方面隊別クロス集計】



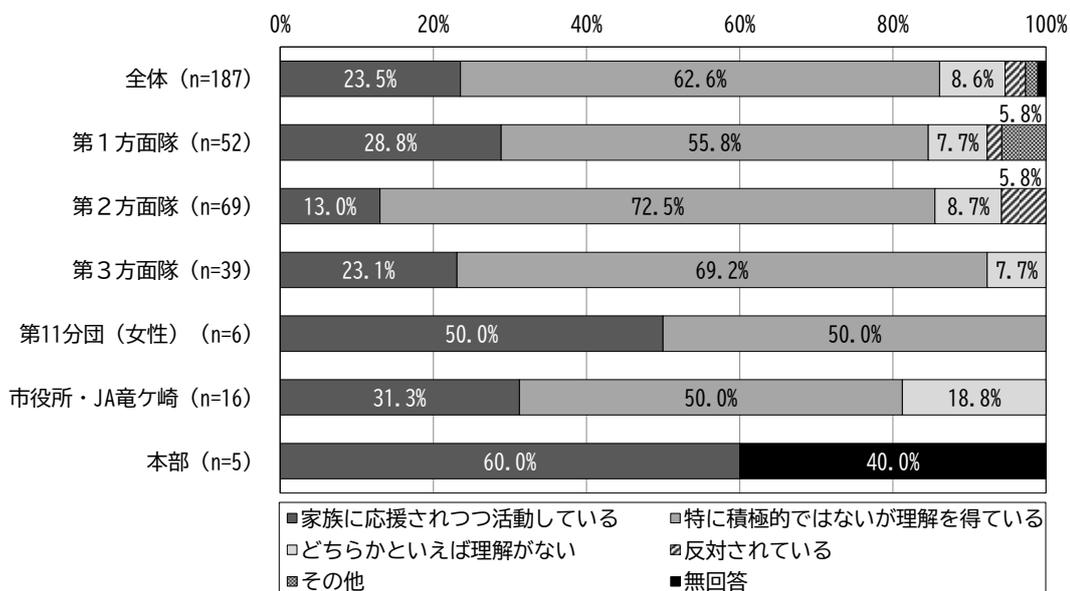
問9 消防団員として活動する上で、家族の理解は得られていますか。(〇は1つ)

消防団員として活動する上で、家族の理解は得られているかについては、「特に積極的ではないが理解を得ている」が 62.6%と最も多く、次いで、「家族に応援されつつ活動している」が 23.5%、「どちらかといえば理解がない」が 8.6%となっています。



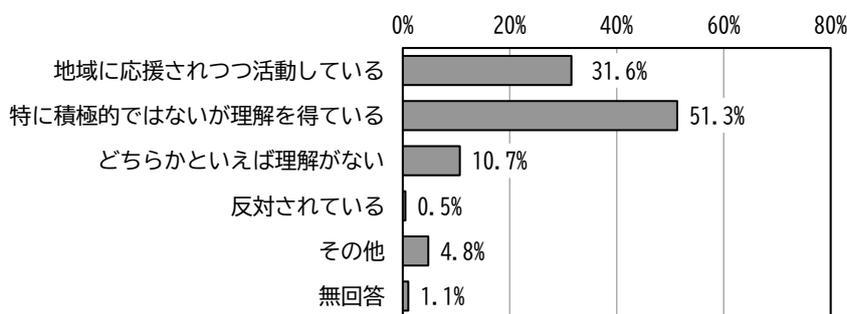
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------------|-----|--------|
| 家族に応援されつつ活動している | 44 | 23.5% |
| 特に積極的ではないが理解を得ている | 117 | 62.6% |
| どちらかといえば理解がない | 16 | 8.6% |
| 反対されている | 5 | 2.7% |
| その他 | 3 | 1.6% |
| 無回答 | 2 | 1.1% |
| 合計 | 187 | 100.0% |

【方面隊別クロス集計】



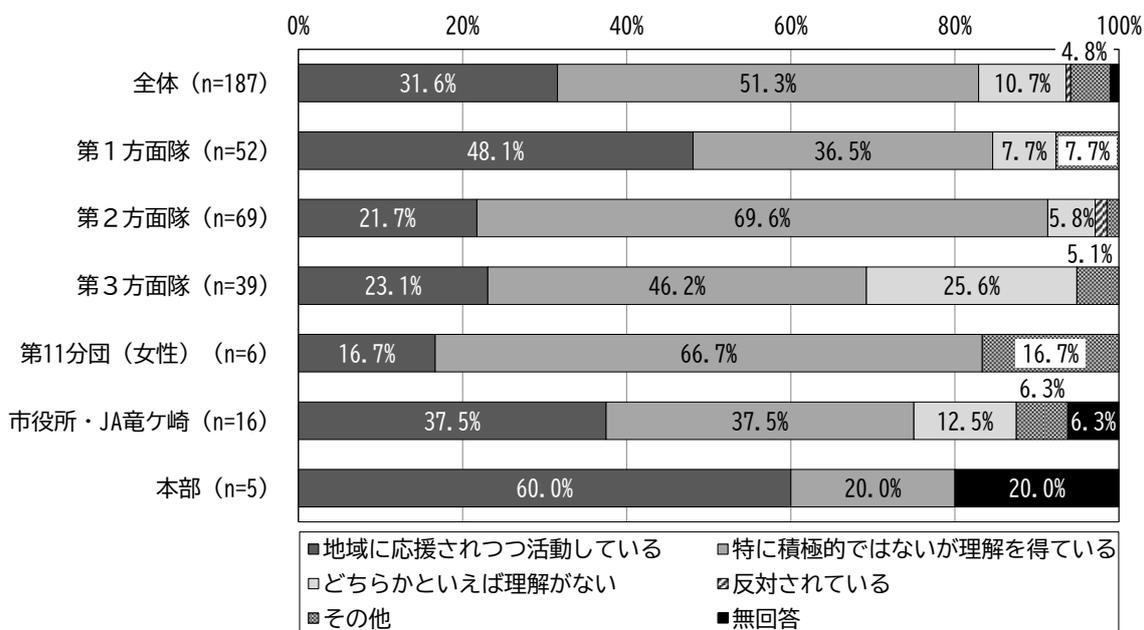
問 10 消防団員として活動する上で、地域の理解及び連携は得られていますか。(〇は1つ)

消防団員として活動する上で、地域の理解及び連携は得られているかについては、「特に積極的ではないが理解を得ている」が51.3%と最も多く、次いで、「地域に応援されつつ活動している」が31.6%、「どちらかといえば理解がない」が10.7%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------------|-----|--------|
| 地域に応援されつつ活動している | 59 | 31.6% |
| 特に積極的ではないが理解を得ている | 96 | 51.3% |
| どちらかといえば理解がない | 20 | 10.7% |
| 反対されている | 1 | 0.5% |
| その他 | 9 | 4.8% |
| 無回答 | 2 | 1.1% |
| 合計 | 187 | 100.0% |

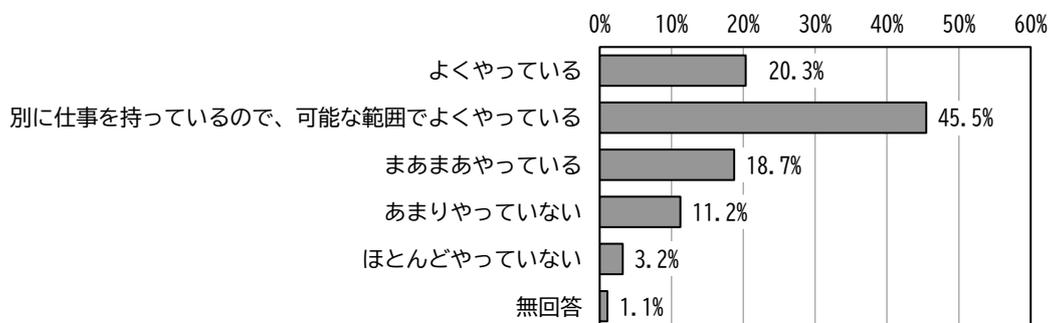
【方面隊別クロス集計】



3. 消防団活動について

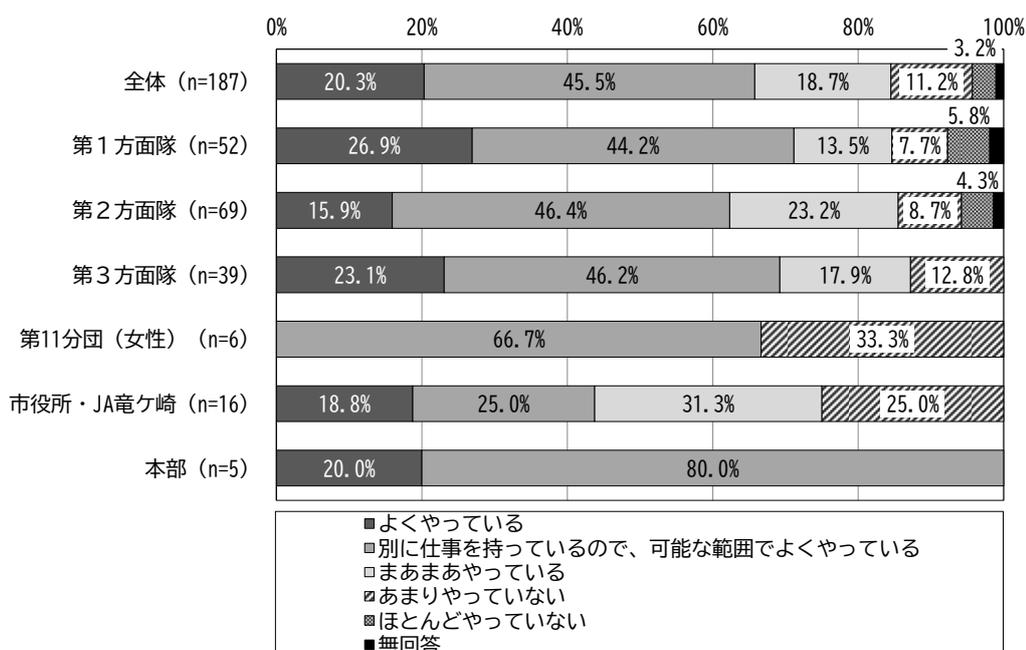
問11 あなたの消防団活動をあなた自身はどのように評価されていますか。(〇は1つ)

消防団活動を自身でどのように評価しているかについては、「別に仕事を持っているので、可能な範囲でよくやっている」が45.5%と最も多く、次いで、「よくやっている」が20.3%、「まあまあやっている」が18.7%となっています。



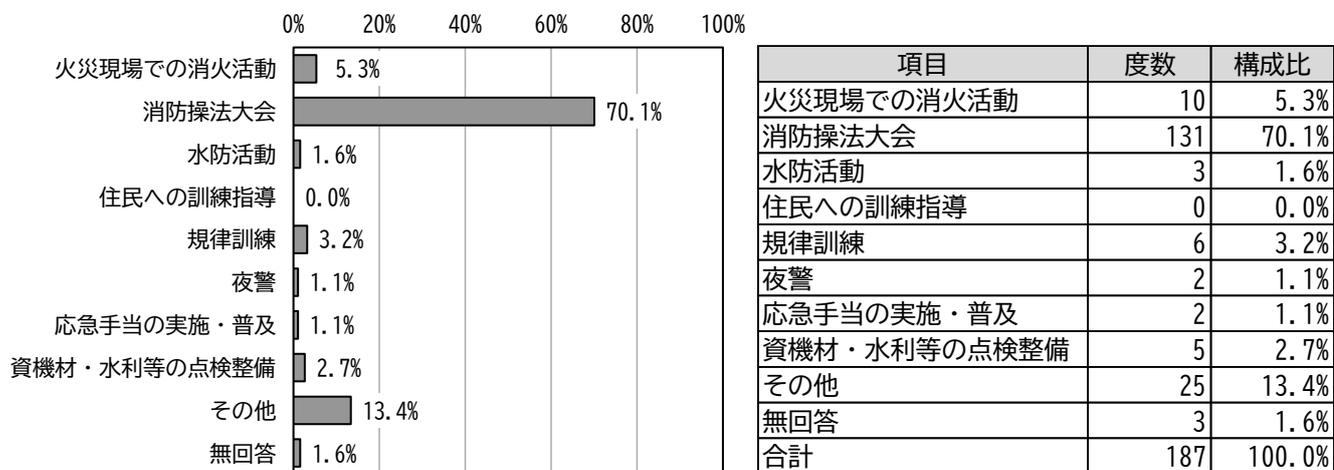
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|----------------------------|-----|--------|
| よくやっている | 38 | 20.3% |
| 別に仕事を持っているので、可能な範囲でよくやっている | 85 | 45.5% |
| まあまあやっている | 35 | 18.7% |
| あまりやっていない | 21 | 11.2% |
| ほとんどやっていない | 6 | 3.2% |
| 無回答 | 2 | 1.1% |
| 合計 | 187 | 100.0% |

【方面隊別クロス集計】

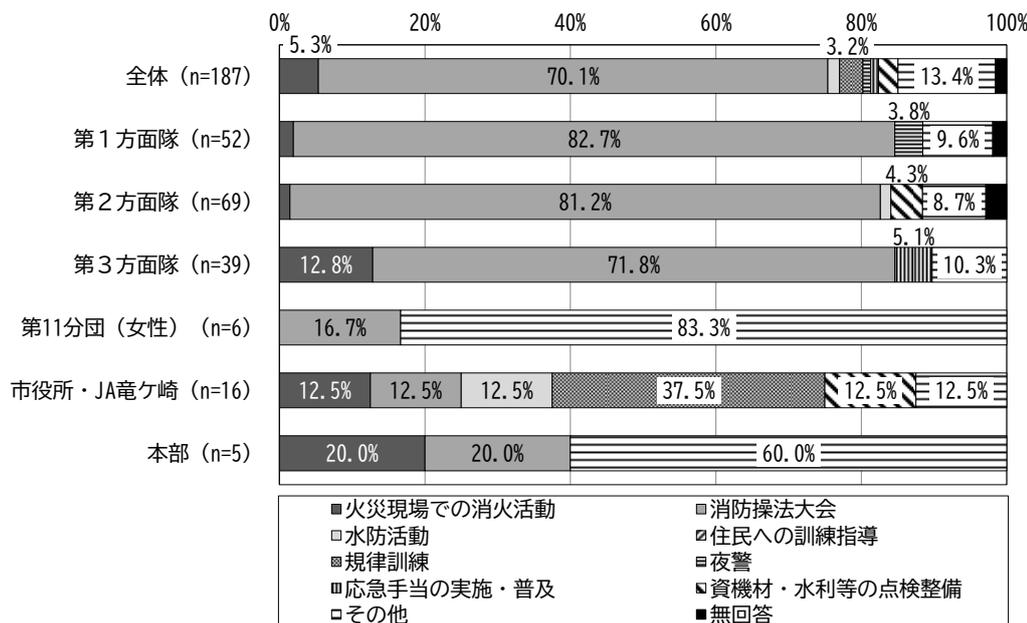


問 12 あなたが消防団員として最も負担に感じている業務は何ですか。(〇は1つ)

消防団員として最も負担に感じている業務については、「消防操法大会」が70.1%と最も多く、次いで、「火災現場での消火活動」が5.3%となっています。また、「その他」が13.4%となっています。

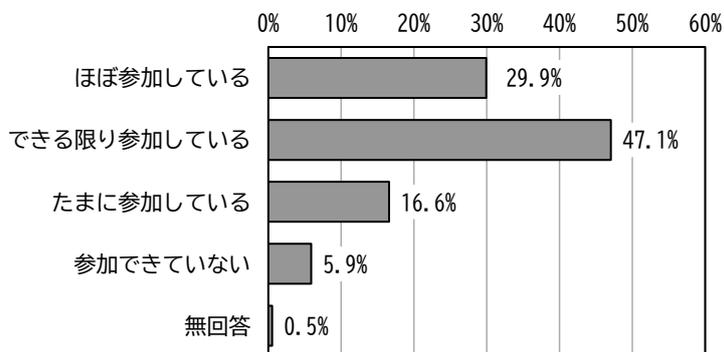


【方面隊別クロス集計】



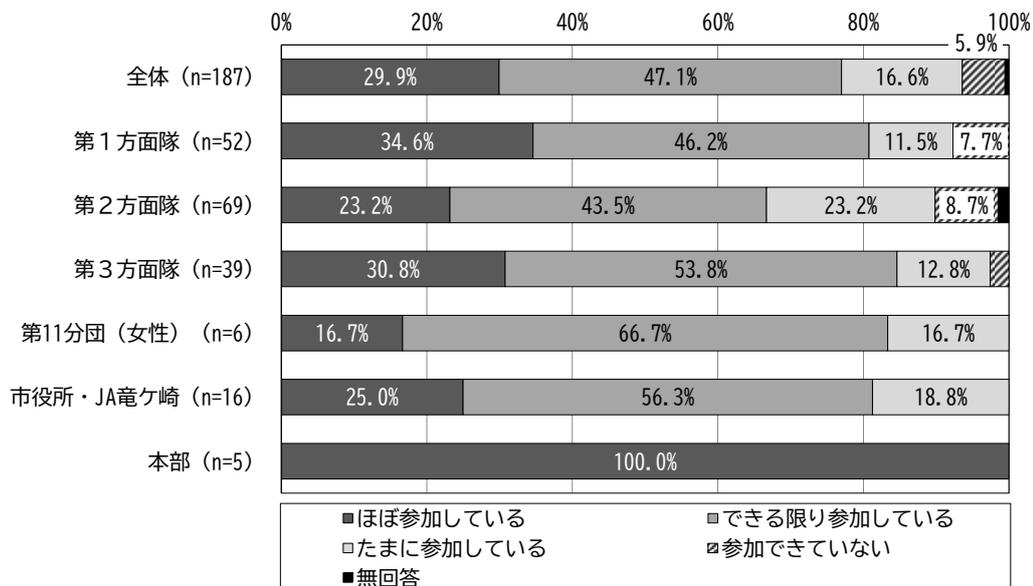
問 13 あなたは消防団活動にどのくらいの頻度で参加していますか。(〇は1つ)

消防団活動にどのくらいの頻度で参加しているかについては、「できる限り参加している」が47.1%と最も多く、次いで、「ほぼ参加している」が29.9%、「たまに参加している」が16.6%となっています。



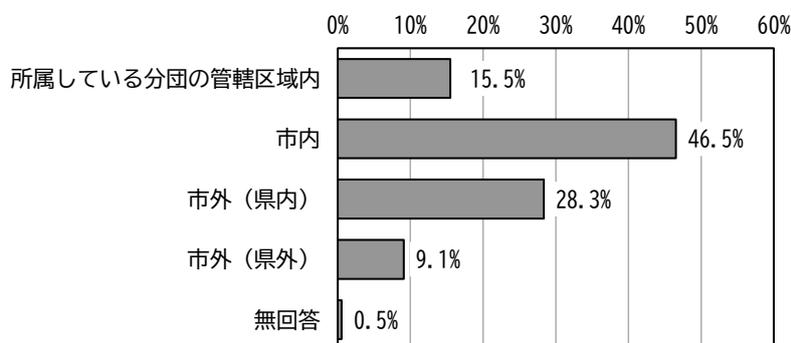
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| ほぼ参加している | 56 | 29.9% |
| できる限り参加している | 88 | 47.1% |
| たまに参加している | 31 | 16.6% |
| 参加できていない | 11 | 5.9% |
| 無回答 | 1 | 0.5% |
| 合計 | 187 | 100.0% |

【方面隊別クロス集計】



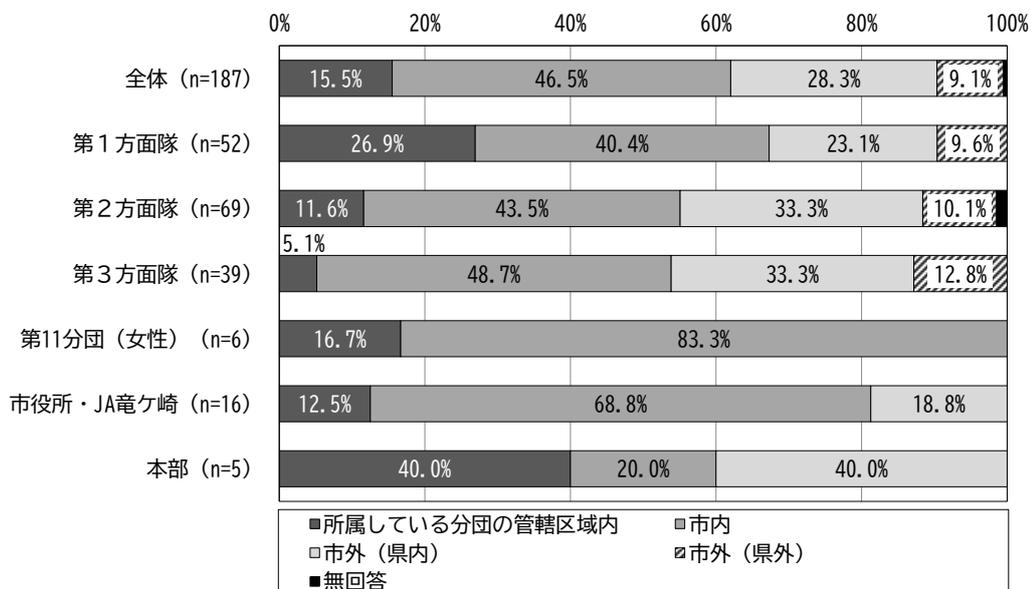
問 14 あなたの職場は、次のどこですか。働いていない方は、昼間いる場所でお答えください。
(○は1つ)

職場については、「市内」が46.5%と最も多く、次いで、「市外（県内）」が28.3%、「所属している分団の管轄区域内」が15.5%となっています。



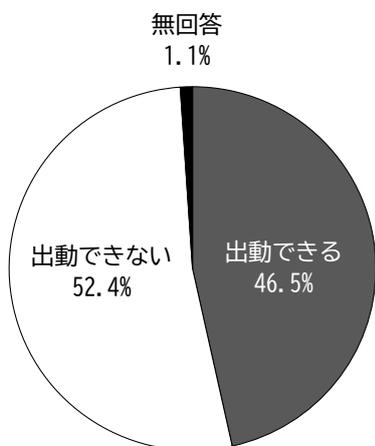
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|----------------|-----|--------|
| 所属している分団の管轄区域内 | 29 | 15.5% |
| 市内 | 87 | 46.5% |
| 市外（県内） | 53 | 28.3% |
| 市外（県外） | 17 | 9.1% |
| 無回答 | 1 | 0.5% |
| 合計 | 187 | 100.0% |

【方面隊別クロス集計】



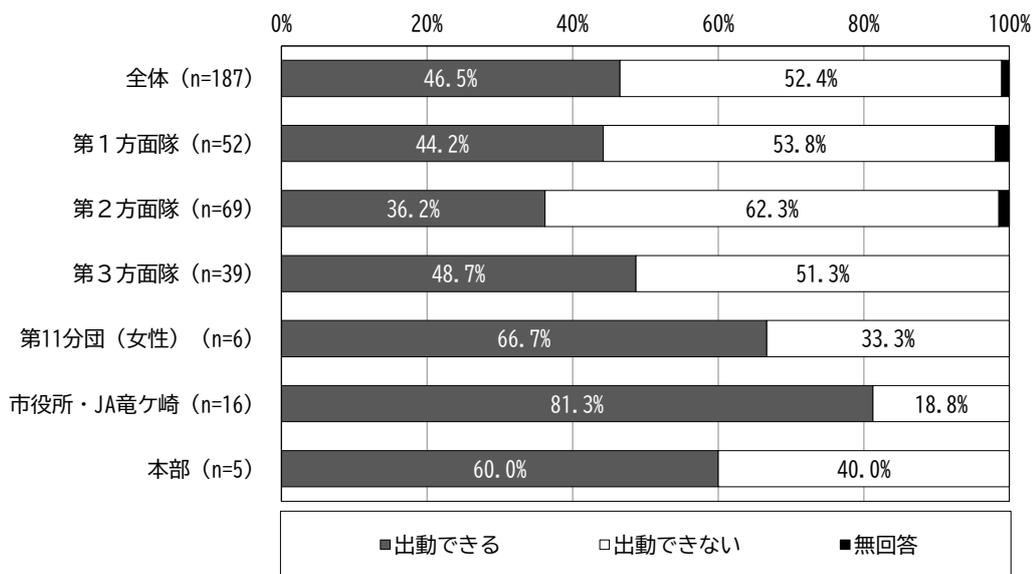
問 15 平日昼間に出勤がかかった場合、あなたは出勤できますか。(〇は1つ)

平日昼間に出勤がかかった場合、出勤できるかについては、「出勤できる」が46.5%に対し、「出勤できない」が52.4%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|--------|-----|--------|
| 出勤できる | 87 | 46.5% |
| 出勤できない | 98 | 52.4% |
| 無回答 | 2 | 1.1% |
| 合計 | 187 | 100.0% |

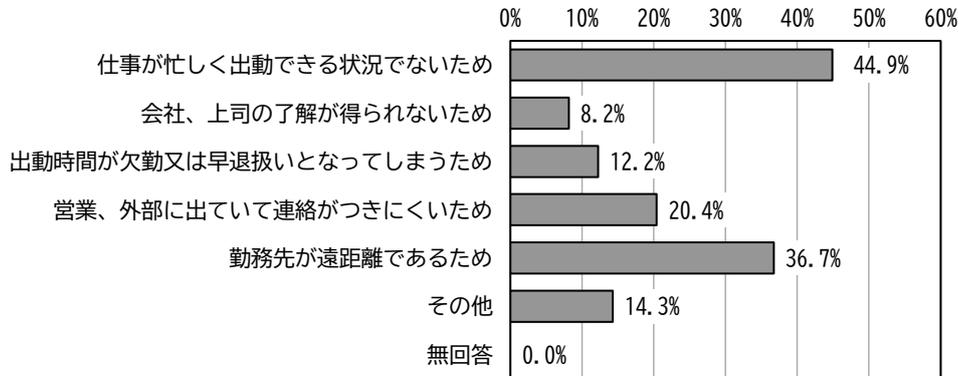
【方面隊別クロス集計】



問 15 で「出勤できない」を選択した方のみ回答

問 15-1 出勤できない理由は何ですか。(複数選択可)

出勤できない理由については、「仕事が忙しく出勤できる状況でないため」が 44.9%と最も多く、次いで、「勤務先が遠距離であるため」が 36.7%、「営業、外部に出ているため連絡がつきにくい」が 20.4%となっています。



| 項目 | 度数 | 比率 |
|------------------------|-----|-------|
| 仕事が忙しく出勤できる状況でないため | 44 | 44.9% |
| 会社、上司の了解が得られないため | 8 | 8.2% |
| 出勤時間が欠勤又は早退扱いになってしまうため | 12 | 12.2% |
| 営業、外部に出ているため連絡がつきにくい | 20 | 20.4% |
| 勤務先が遠距離であるため | 36 | 36.7% |
| その他 | 14 | 14.3% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 98 | |
| 非該当 | 89 | |
| 合計 | 187 | |

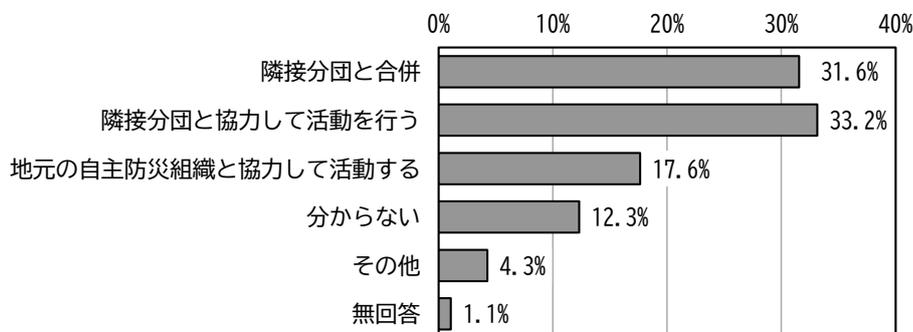
【方面隊別クロス集計】

(上段：度数、下段：比率)

| | 状況で忙しく出勤できない | 会社、上司の了解が得られない | 出勤時間欠勤又は早退 | 営業、外部に出ているため連絡 | 勤務先が遠距離であるため | その他 | 無回答 | 回答者数 | 非該当 | |
|-----------|--------------|----------------|------------|----------------|--------------|-------|-------|------|-----|----|
| | | | | | | | | | | 度数 |
| 全体 | 44 | 8 | 12 | 20 | 36 | 14 | 0 | 98 | 89 | |
| | 44.9% | 8.2% | 12.2% | 20.4% | 36.7% | 14.3% | 0.0% | | | |
| 方面隊別 | 第1方面隊 | 15 | 1 | 3 | 10 | 7 | 3 | 0 | 28 | 24 |
| | | 53.6% | 3.6% | 10.7% | 35.7% | 25.0% | 10.7% | 0.0% | | |
| | 第2方面隊 | 19 | 4 | 5 | 5 | 18 | 6 | 0 | 43 | 26 |
| | | 44.2% | 9.3% | 11.6% | 11.6% | 41.9% | 14.0% | 0.0% | | |
| | 第3方面隊 | 6 | 3 | 2 | 5 | 8 | 5 | 0 | 20 | 19 |
| | | 30.0% | 15.0% | 10.0% | 25.0% | 40.0% | 25.0% | 0.0% | | |
| | 第11分団(女性) | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 4 |
| | 50.0% | 0.0% | 50.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| 市役所・JA竜ヶ崎 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 3 | 13 | |
| | 33.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 66.7% | 0.0% | 0.0% | | | |
| 本部 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 3 | |
| | 100.0% | 0.0% | 50.0% | 0.0% | 50.0% | 0.0% | 0.0% | | | |

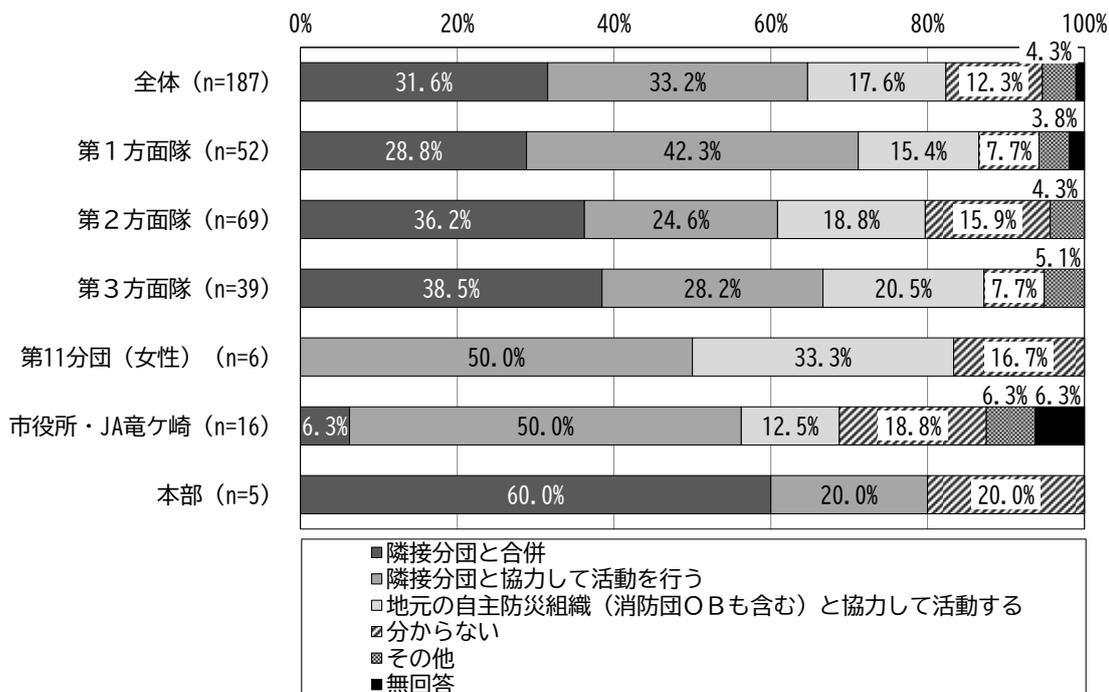
問 16 人員を確保できず消防団活動が十分に行えないなど、分団としての機能が維持できない場合、どのように改革をしたら良いと考えますか。(〇は1つ)

分団としての機能が維持できない場合、どのように改革をしたら良いと考えるかについては、「隣接分団と協力して活動を行う」が 33.2%と最も多く、次いで、「隣接分団と合併」が 31.6%、「地元の自主防災組織（消防団OBも含む）と協力して活動する」が 17.6%となっています。



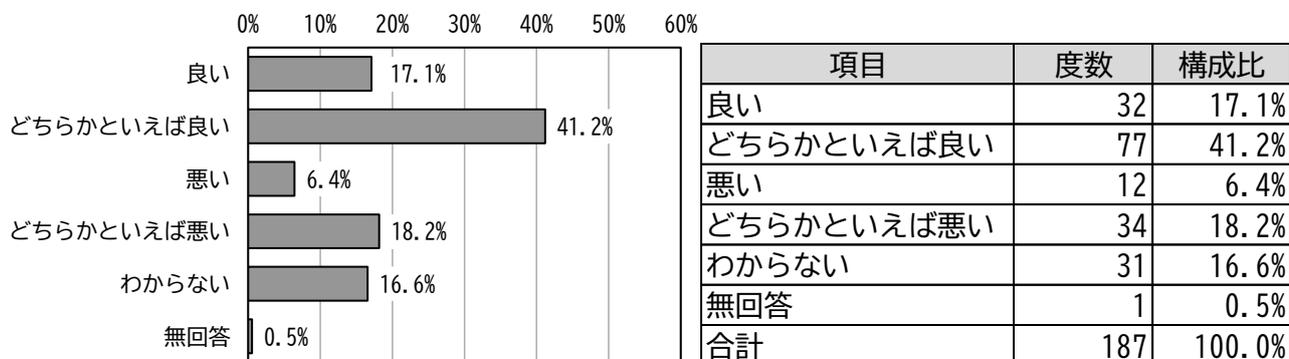
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|------------------------------|-----|--------|
| 隣接分団と合併 | 59 | 31.6% |
| 隣接分団と協力して活動を行う | 62 | 33.2% |
| 地元の自主防災組織（消防団OBも含む）と協力して活動する | 33 | 17.6% |
| 分からない | 23 | 12.3% |
| その他 | 8 | 4.3% |
| 無回答 | 2 | 1.1% |
| 合計 | 187 | 100.0% |

【方面隊別クロス集計】

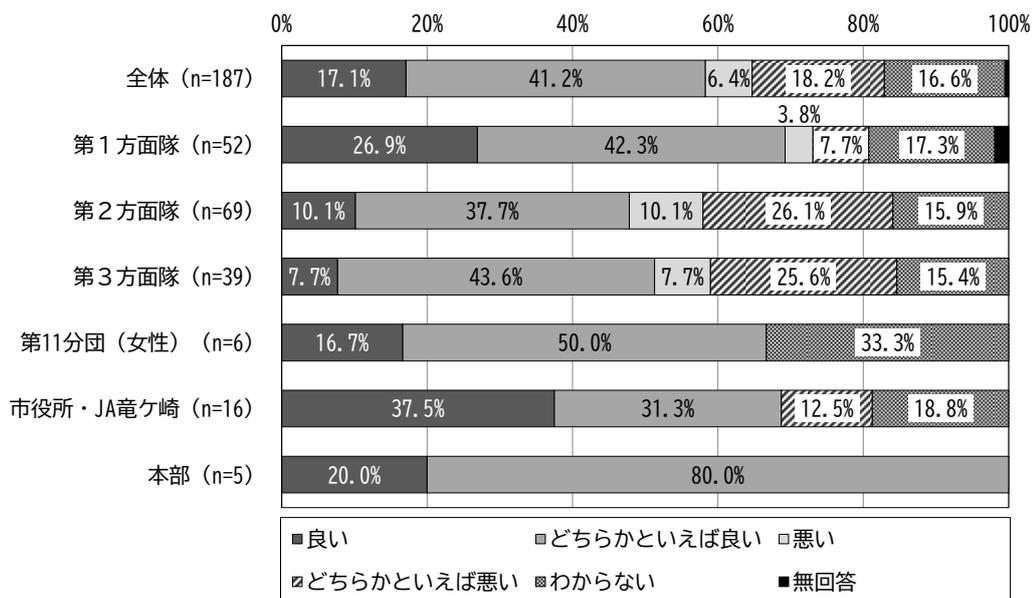


問 17 消防団に対するイメージをどう感じますか。(○は1つ)

消防団に対するイメージをどう感じるかについては、「良い(17.1%)」、「どちらかといえば良い(41.2%)」を合わせた『良い(計)』が58.3%に対し、「悪い(6.4%)」、「どちらかといえば悪い(18.2%)」を合わせた『悪い(計)』が24.6%となっています。また、「わからない」が16.6%となっています。

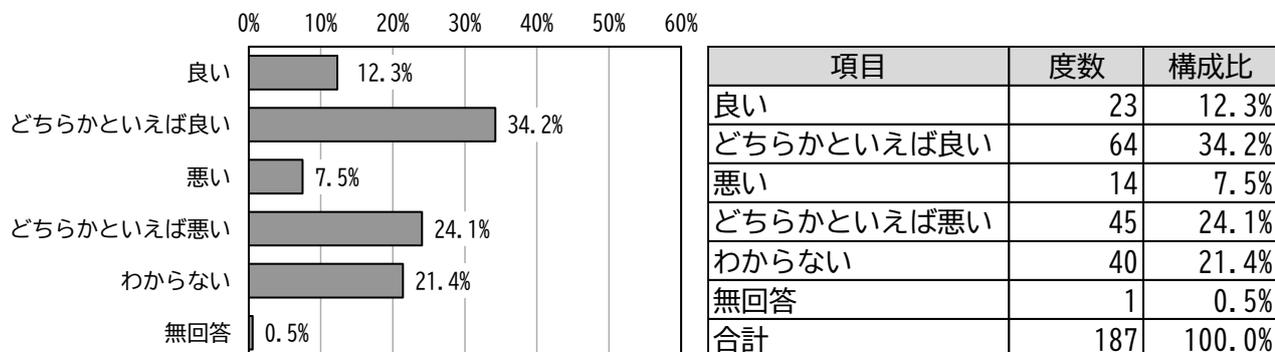


【方面隊別クロス集計】

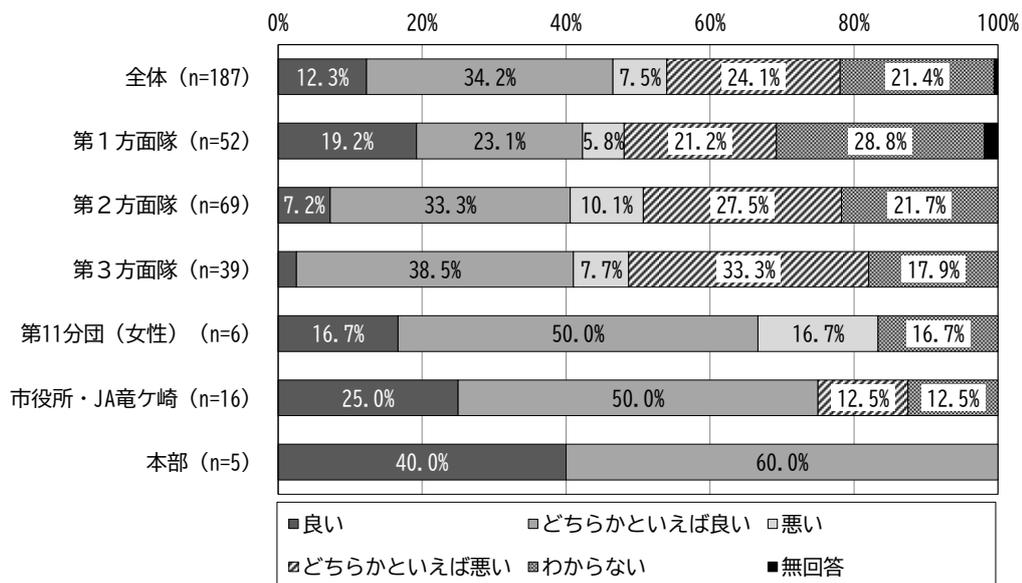


問18 周囲（地域・職場等）からのイメージはどう感じますか。（○は1つ）

周囲（地域・職場等）からのイメージはどう感じるかについては、「良い(12.3%)」、「どちらかといえば良い(34.2%)」を合わせた『良い（計）』が46.5%に対し、「悪い(7.5%)」、「どちらかといえば悪い(24.1%)」を合わせた『悪い（計）』が31.6%となっています。また、「わからない」が21.4%となっています。



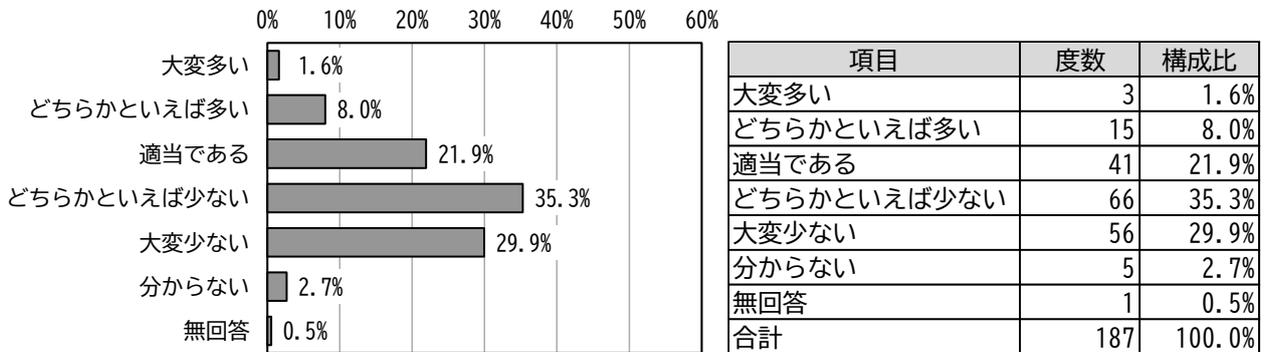
【方面隊別クロス集計】



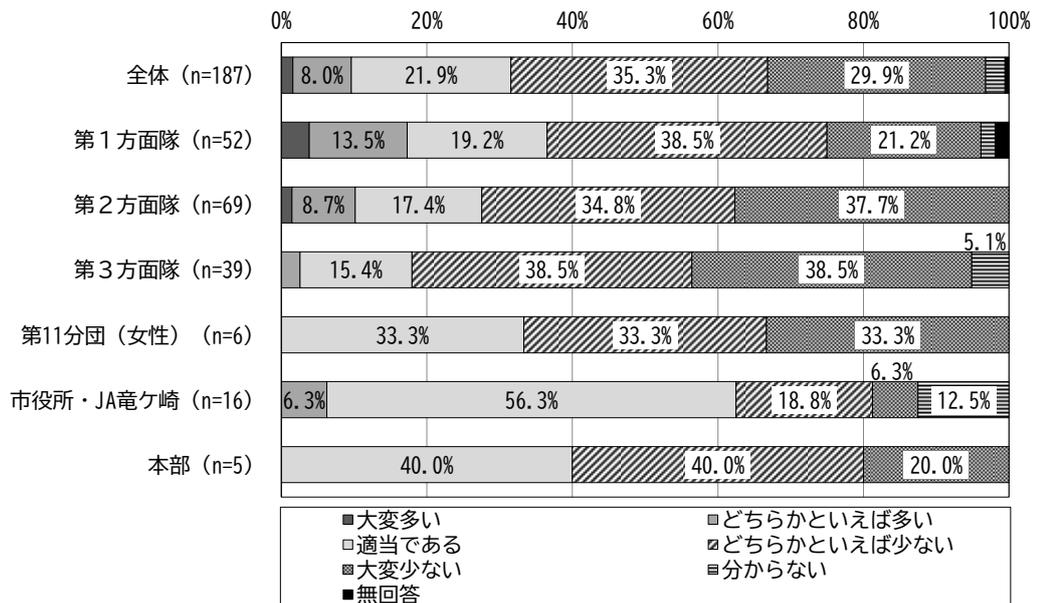
4. 消防団の組織について

問 19 現在のあなたの所属している部の団員数について、あなたはどのように思われますか。(○は1つ)

現在所属している部の団員数については、「大変多い(1.6%)」、「どちらかといえば多い(8.0%)」を合わせた『多い(計)』が9.6%に対し、「どちらかといえば少ない(35.3%)」、「大変少ない(29.9%)」を合わせた『少ない(計)』が65.2%となっています。また、「適当である」が21.9%、「分からない」が2.7%となっています。

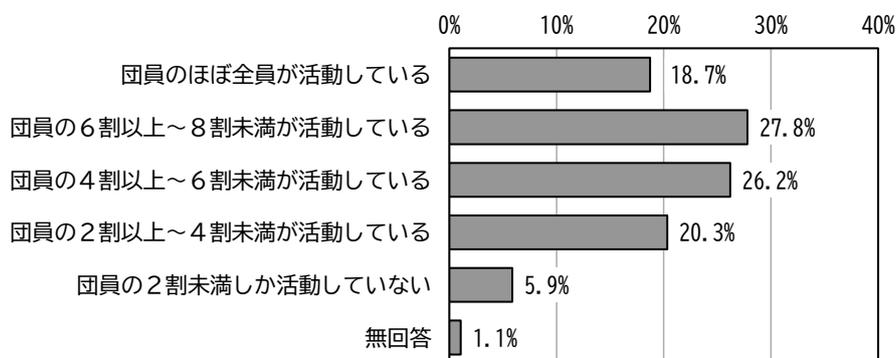


【方面隊別クロス集計】



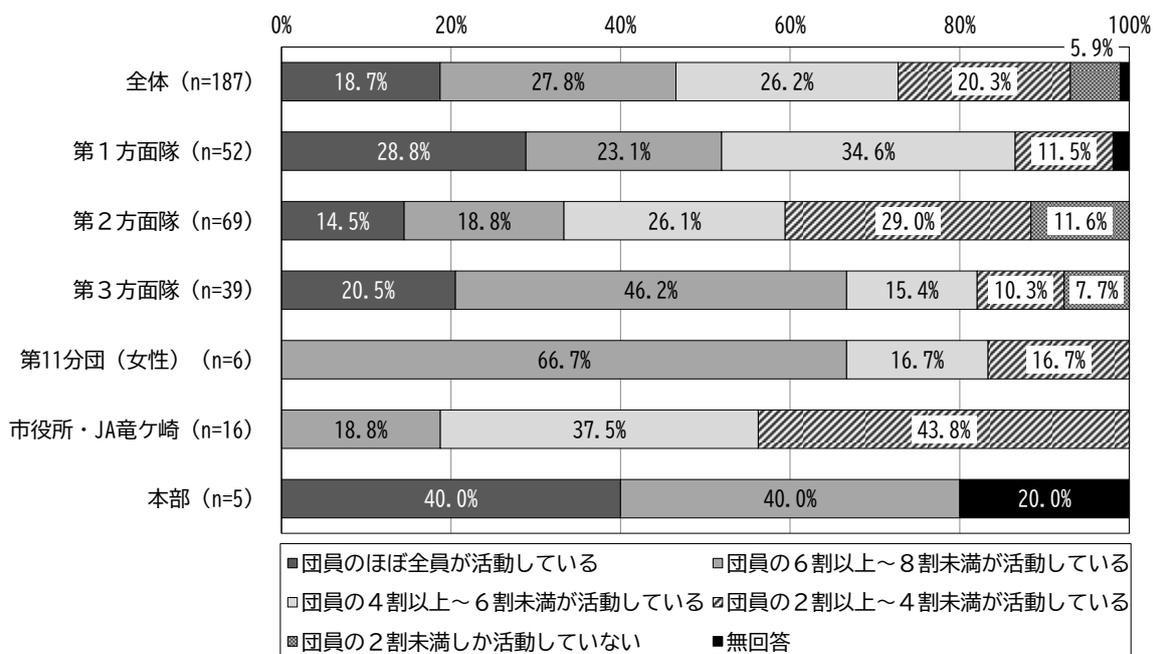
問 20 あなたの所属している部で、実際に活動している団員の割合はどうか。(〇は1つ)

所属している部で、実際に活動している団員の割合については、「団員の6割以上～8割未満が活動している」が27.8%と最も多く、次いで、「団員の4割以上～6割未満が活動している」が26.2%、「団員の2割以上～4割未満が活動している」が20.3%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------------------|-----|--------|
| 団員のほぼ全員が活動している | 35 | 18.7% |
| 団員の6割以上～8割未満が活動している | 52 | 27.8% |
| 団員の4割以上～6割未満が活動している | 49 | 26.2% |
| 団員の2割以上～4割未満が活動している | 38 | 20.3% |
| 団員の2割未満しか活動していない | 11 | 5.9% |
| 無回答 | 2 | 1.1% |
| 合計 | 187 | 100.0% |

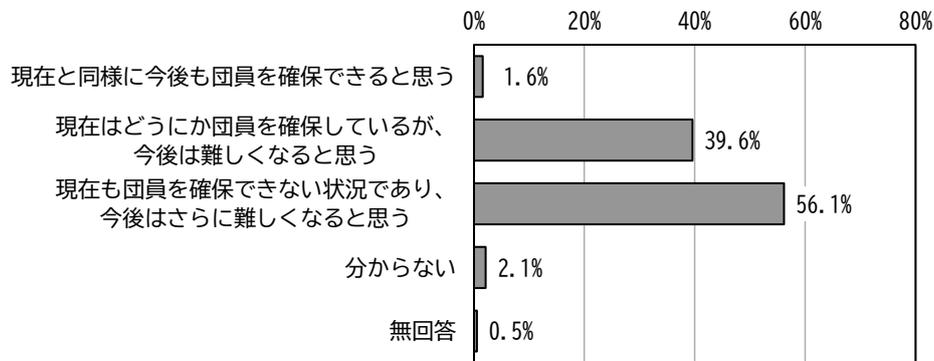
【方面隊別クロス集計】



5. 今後の消防団について

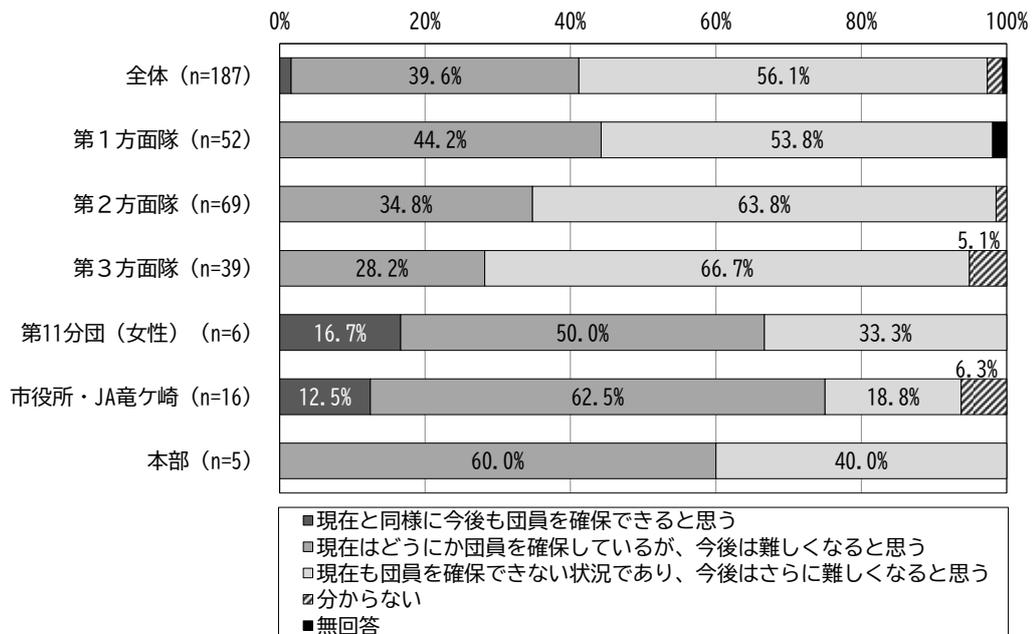
問 21 新入団員の確保について、あなたの考えをお聞かせください。(○は1つ)

新入団員の確保への考えについては、「現在も団員を確保できない状況であり、今後はさらに難しくなると思う」が56.1%と最も多く、次いで、「現在はどうか団員を確保しているが、今後は難しくなると思う」が39.6%、「分からない」が2.1%となっています。



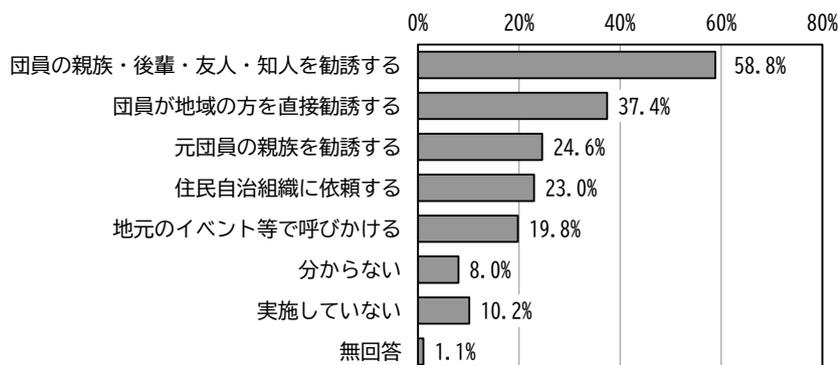
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|----------------------------------|-----|--------|
| 現在と同様に今後も団員を確保できると思う | 3 | 1.6% |
| 現在はどうか団員を確保しているが、今後は難しくなると思う | 74 | 39.6% |
| 現在も団員を確保できない状況であり、今後はさらに難しくなると思う | 105 | 56.1% |
| 分からない | 4 | 2.1% |
| 無回答 | 1 | 0.5% |
| 合計 | 187 | 100.0% |

【方面隊別クロス集計】



問 22 団員確保の方法として、どのような手段を用いていますか。(複数選択可)

団員確保の方法として、どのような手段を用いているかについては、「団員の親族・後輩・友人・知人を勧誘する」が58.8%と最も多く、次いで、「団員が地域の方を直接勧誘する」が37.4%、「元団員の親族を勧誘する」が24.6%となっています。



| 項目 | 度数 | 比率 |
|---------------------|-----|-------|
| 団員の親族・後輩・友人・知人を勧誘する | 110 | 58.8% |
| 団員が地域の方を直接勧誘する | 70 | 37.4% |
| 元団員の親族を勧誘する | 46 | 24.6% |
| 住民自治組織に依頼する | 43 | 23.0% |
| 地元のイベント等で呼びかける | 37 | 19.8% |
| 分からない | 15 | 8.0% |
| 実施していない | 19 | 10.2% |
| 無回答 | 2 | 1.1% |
| 回答者数 | 187 | |

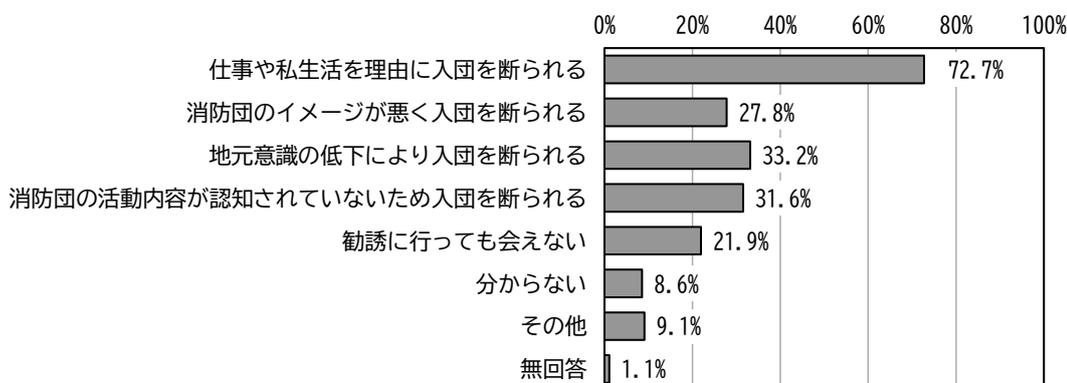
【方面隊別クロス集計】

(上段：度数、下段：比率)

| | 友 人・ 知 人 を 勧 誘 す る | 団 員 が 地 域 の 方 を 直 接 勧 誘 す る | 元 団 員 の 親 族 を 勧 誘 す る | 住 民 自 治 組 織 に 依 頼 す る | 呼 び か け る 地 元 の イ ベ ン ト 等 で | 分 か ら な い | 実 施 し て い な い | 無 回 答 | 回 答 者 数 | |
|--------------|--|--|---|---|--|-----------------------|---------------------------------|-------------|------------------|-----|
| | 全体 | 110 58.8% | 70 37.4% | 46 24.6% | 43 23.0% | 37 19.8% | 15 8.0% | 19 10.2% | 2 1.1% | 187 |
| 方面 隊 別 | 第1方面隊 | 34 65.4% | 20 38.5% | 14 26.9% | 11 21.2% | 10 19.2% | 3 5.8% | 3 5.8% | 0 0.0% | 52 |
| | 第2方面隊 | 40 58.0% | 26 37.7% | 16 23.2% | 12 17.4% | 9 13.0% | 6 8.7% | 9 13.0% | 0 0.0% | 69 |
| | 第3方面隊 | 24 61.5% | 17 43.6% | 12 30.8% | 15 38.5% | 12 30.8% | 2 5.1% | 2 5.1% | 0 0.0% | 39 |
| | 第11分団(女性) | 4 66.7% | 2 33.3% | 1 16.7% | 2 33.3% | 1 16.7% | 0 0.0% | 1 16.7% | 0 0.0% | 6 |
| | 市役所・JA竜ヶ崎 | 5 31.3% | 1 6.3% | 0 0.0% | 1 6.3% | 1 6.3% | 4 25.0% | 4 25.0% | 1 6.3% | 16 |
| | 本部 | 3 60.0% | 4 80.0% | 3 60.0% | 2 40.0% | 4 80.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 20.0% | 5 |

問 23 団員確保の支障となっていると思われることがあれば教えてください。(複数選択可)

団員確保の支障となっていると思われることについては、「仕事や私生活を理由に入団を断られる」が 72.7%と最も多く、次いで、「地元意識の低下により入団を断られる」が 33.2%、「消防団の活動内容が認知されていないため入団を断られる」が 31.6%となっています。



| 項目 | 度数 | 比率 |
|----------------------------|-----|-------|
| 仕事や私生活を理由に入団を断られる | 136 | 72.7% |
| 消防団のイメージが悪く入団を断られる | 52 | 27.8% |
| 地元意識の低下により入団を断られる | 62 | 33.2% |
| 消防団の活動内容が認知されていないため入団を断られる | 59 | 31.6% |
| 勧誘に行っても会えない (合わせてもらえない) | 41 | 21.9% |
| 分からない | 16 | 8.6% |
| その他 | 17 | 9.1% |
| 無回答 | 2 | 1.1% |
| 回答者数 | 187 | |

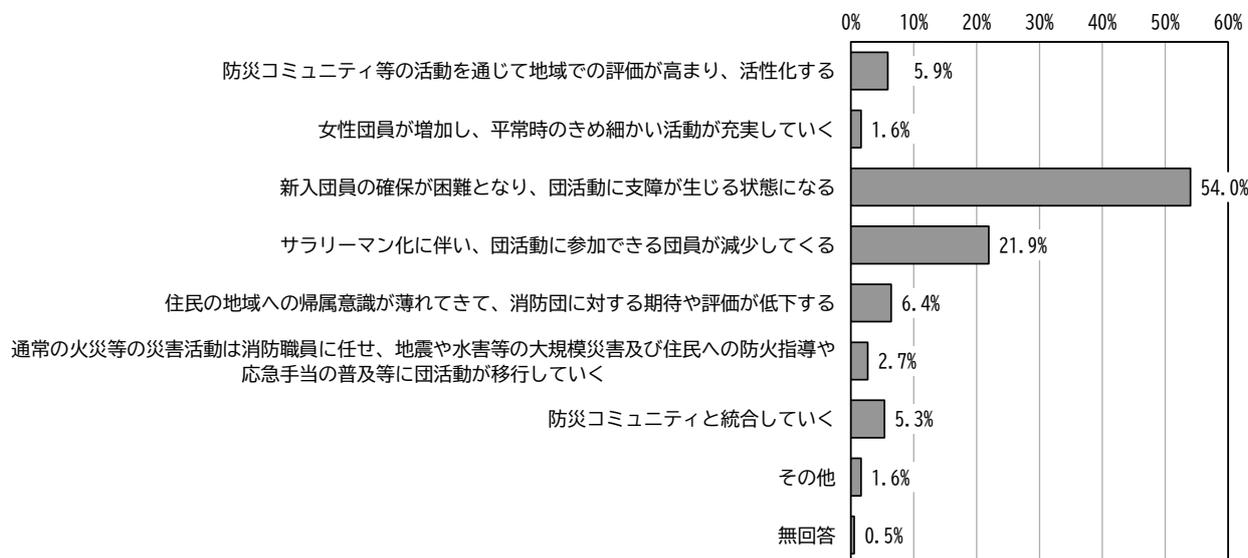
【方面隊別クロス集計】

(上段：度数、下段：比率)

| | 仕事や私生活を理由に入団を断られる | 消防団のイメージが悪く入団を断られる | 地元意識の低下により入団を断られる | 断られる消防団の活動内容が認知されていないため入団を知 | (勧誘に行っても会えない (合わせてもらえない)) | 分からない | その他 | 無回答 | 回答者数 | |
|------|-------------------|--------------------|-------------------|-----------------------------|---------------------------|-------------|------------|-------------|-----------|-----|
| | 全体 | 136 72.7% | 52 27.8% | 62 33.2% | 59 31.6% | 41 21.9% | 16 8.6% | 17 9.1% | 2 1.1% | 187 |
| 方面隊別 | 第1方面隊 | 37 71.2% | 12 23.1% | 19 36.5% | 13 25.0% | 5 9.6% | 4 7.7% | 3 5.8% | 1 1.9% | 52 |
| | 第2方面隊 | 48 69.6% | 24 34.8% | 19 27.5% | 27 39.1% | 22 31.9% | 4 5.8% | 11 15.9% | 0 0.0% | 69 |
| | 第3方面隊 | 38 97.4% | 13 33.3% | 19 48.7% | 13 33.3% | 11 28.2% | 1 2.6% | 2 5.1% | 0 0.0% | 39 |
| | 第11分団 (女性) | 3 50.0% | 1 16.7% | 0 0.0% | 3 50.0% | 0 0.0% | 3 16.7% | 1 0.0% | 0 0.0% | 6 |
| | 市役所・JA竜ヶ崎 | 7 43.8% | 1 6.3% | 3 18.8% | 3 18.8% | 0 0.0% | 6 37.5% | 1 6.3% | 1 6.3% | 16 |
| | 本部 | 3 60.0% | 1 20.0% | 2 40.0% | 0 0.0% | 3 60.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 5 |

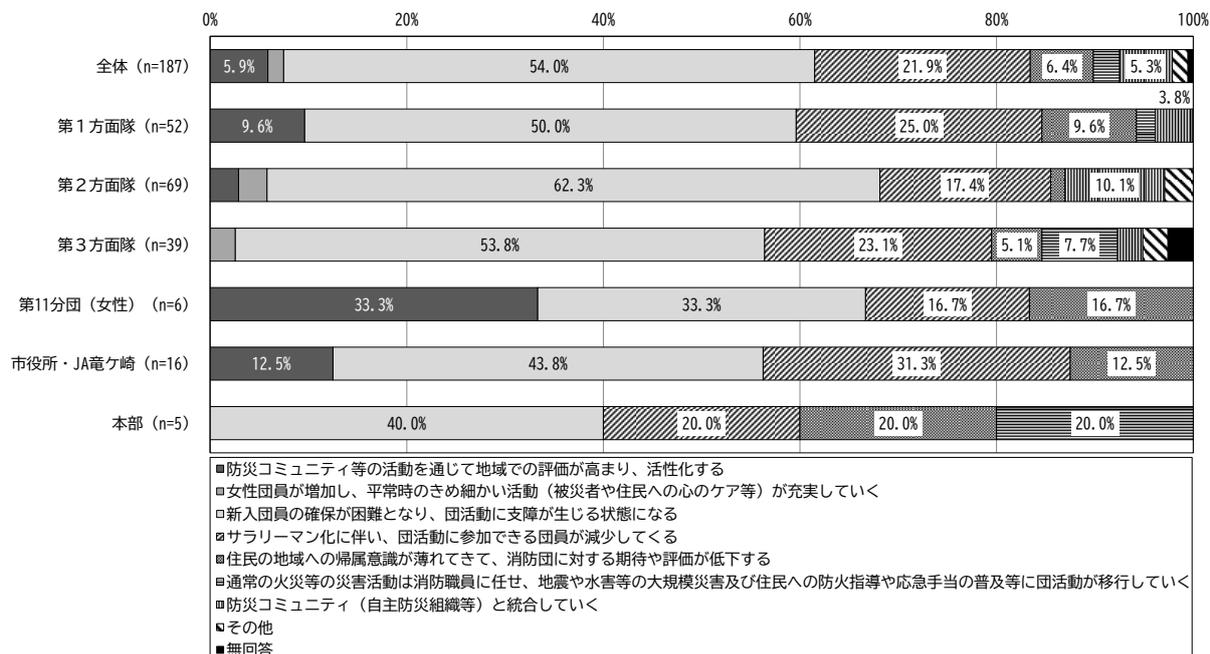
問 24 消防団の将来についてあなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

消防団の将来への考えについては、「新入団員の確保が困難となり、団活動に支障が生じる状態になる」が54.0%と最も多く、次いで、「サラリーマン化に伴い、団活動に参加できる団員が減少してくる」が21.9%、「住民の地域への帰属意識が薄れてきて、消防団に対する期待や評価が低下する」が6.4%となっています。



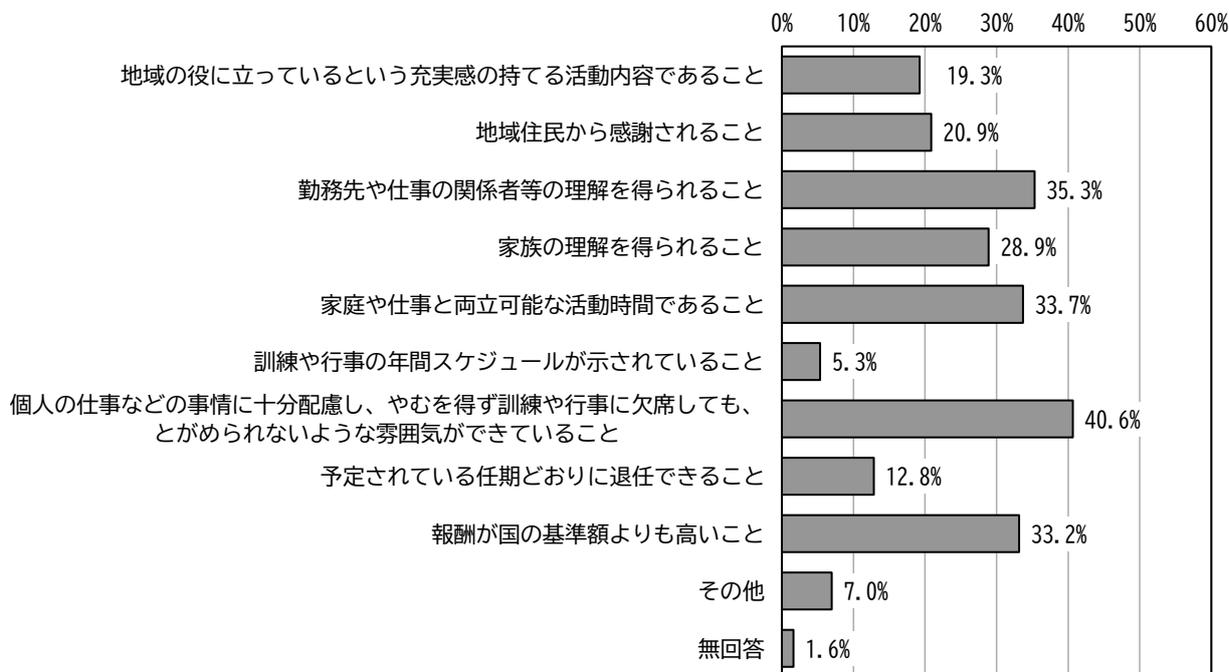
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|--|-----|--------|
| 防災コミュニティ等の活動を通じて地域での評価が高まり、活性化する | 11 | 5.9% |
| 女性団員が増加し、平常時のきめ細かい活動（被災者や住民への心のケア等）が充実していく | 3 | 1.6% |
| 新入団員の確保が困難となり、団活動に支障が生じる状態になる | 101 | 54.0% |
| サラリーマン化に伴い、団活動に参加できる団員が減少してくる | 41 | 21.9% |
| 住民の地域への帰属意識が薄れてきて、消防団に対する期待や評価が低下する | 12 | 6.4% |
| 通常の火災等の災害活動は消防職員に任せ、地震や水害等の大規模災害及び住民への防火指導や応急手当の普及等に団活動が移行していく | 5 | 2.7% |
| 防災コミュニティ（自主防災組織等）と統合していく | 10 | 5.3% |
| その他 | 3 | 1.6% |
| 無回答 | 1 | 0.5% |
| 合計 | 187 | 100.0% |

【方面隊別クロス集計】



問 25 消防団からの退団者を減らすためにはどのようなことが大切だと思いますか。(〇は3つまで)

消防団からの退団者を減らすために大切だと思うことについては、「個人の仕事などの事情に十分配慮し、やむを得ず訓練や行事に欠席しても、とがめられないような雰囲気ができていること」が 40.6%と最も多く、次いで、「勤務先や仕事の関係者等の理解を得られること」が 35.3%、「家庭や仕事と両立可能な活動時間であること」が 33.7%となっています。



| 項目 | 度数 | 比率 |
|---|-----|-------|
| 地域の役に立っているという充実感の持てる活動内容であること | 36 | 19.3% |
| 地域住民から感謝されること | 39 | 20.9% |
| 勤務先や仕事の関係者等の理解を得られること | 66 | 35.3% |
| 家族の理解を得られること | 54 | 28.9% |
| 家庭や仕事と両立可能な活動時間であること | 63 | 33.7% |
| 訓練や行事の年間スケジュールが示されていること | 10 | 5.3% |
| 個人の仕事などの事情に十分配慮し、やむを得ず訓練や行事に欠席しても、とがめられないような雰囲気ができていること | 76 | 40.6% |
| 予定されている任期どおりに退任できること | 24 | 12.8% |
| 報酬が国の基準額よりも高いこと | 62 | 33.2% |
| その他 | 13 | 7.0% |
| 無回答 | 3 | 1.6% |
| 回答者数 | 187 | |

【方面隊別クロス集計】

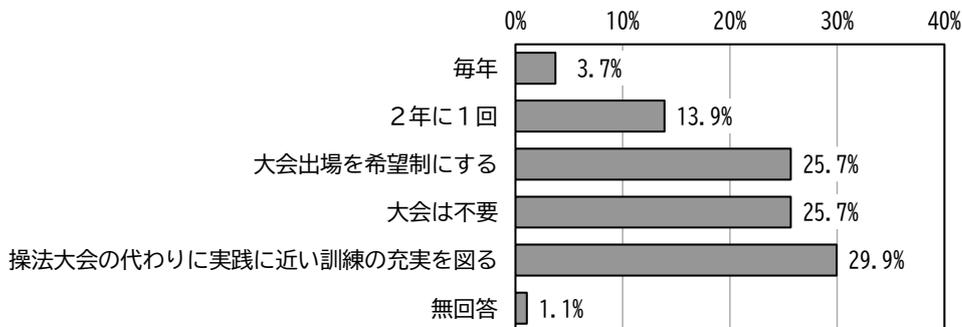
(上段：度数、下段：比率)

| | | 地域の役に立っている活動内容であるという充実感の持てる活動内容であること | 地域住民から感謝されること | 勤務先や仕事の関係者等の理解を得られること | 家族の理解を得られること | 家庭や仕事と両立可能な活動時間であること | 訓練や行事の年間スケジュールが示されていること | 個人の仕事などの事情に十分配慮しても、とがめられないような雰囲気のできていること | 予定されている任期どおりに退任できること | 報酬が国の基準額よりも高いこと | その他 | 無回答 | 回答者数 | |
|------|-----------|--------------------------------------|---------------|-----------------------|--------------|----------------------|-------------------------|--|----------------------|-----------------|------------|------------|------------|----|
| 全体 | | 36 19.3% | 39 20.9% | 66 35.3% | 54 28.9% | 63 33.7% | 10 5.3% | 76 40.6% | 24 12.8% | 62 33.2% | 13 7.0% | 3 1.6% | 187 | |
| 方面隊別 | 第1方面隊 | 11 21.2% | 11 21.2% | 21 40.4% | 24 46.2% | 16 30.8% | 5 9.6% | 21 40.4% | 4 7.7% | 15 28.8% | 1 1.9% | 0 0.0% | 52 | |
| | 第2方面隊 | 14 20.3% | 12 17.4% | 19 27.5% | 13 18.8% | 25 36.2% | 1 1.4% | 26 37.7% | 12 17.4% | 27 39.1% | 7 10.1% | 1 1.4% | 69 | |
| | 第3方面隊 | 7 17.9% | 12 30.8% | 13 33.3% | 11 28.2% | 11 28.2% | 2 5.1% | 17 43.6% | 6 15.4% | 15 38.5% | 3 7.7% | 1 2.6% | 39 | |
| | 第11分団(女性) | 2 33.3% | 2 33.3% | 2 33.3% | 1 16.7% | 2 33.3% | 0 0.0% | 3 50.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 16.7% | 0 0.0% | 0 0.0% | 6 |
| | 市役所・JA竜ヶ崎 | 2 12.5% | 0 0.0% | 8 50.0% | 3 18.8% | 7 43.8% | 2 12.5% | 7 43.8% | 2 12.5% | 4 25.0% | 1 6.3% | 0 0.0% | 0 0.0% | 16 |
| | 本部 | 0 0.0% | 2 40.0% | 3 60.0% | 2 40.0% | 2 40.0% | 0 0.0% | 2 40.0% | 0 0.0% | 1 20.0% | 0 0.0% | 1 20.0% | 1 20.0% | 5 |

6. 操法について

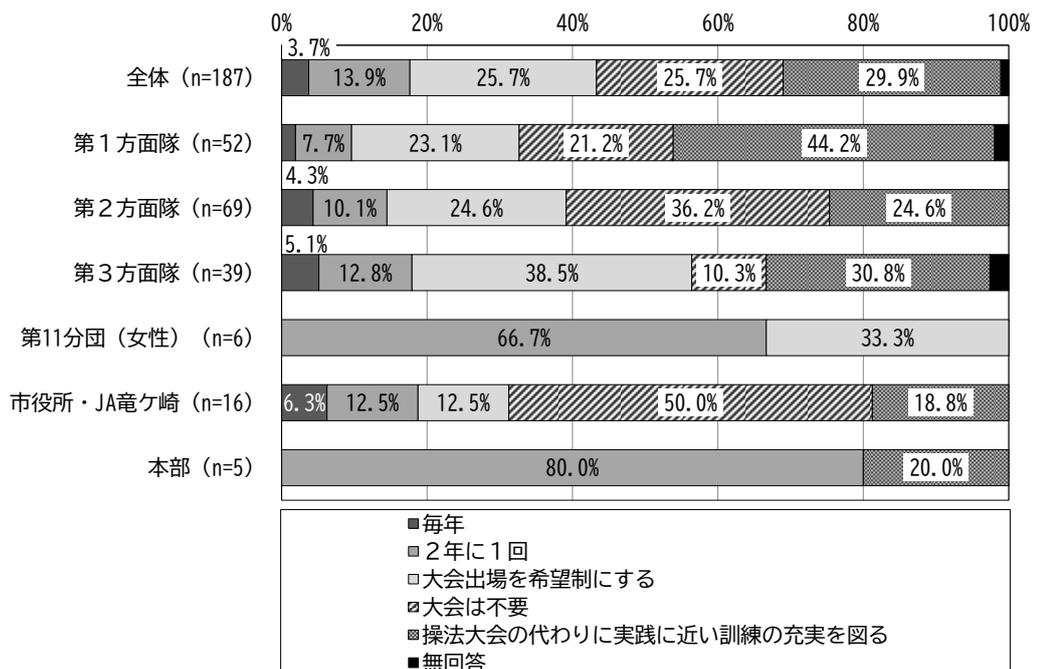
問 26 令和7年度に、市内の消防操法大会の頻度を2年に1回と決定しましたが、消防操法大会の頻度について、どう思いますか。(〇は1つ)

消防操法大会の頻度については、「操法大会の代わりに実践に近い訓練の充実を図る」が29.9%と最も多く、次いで、「大会出場を希望制にする」、「大会は不要」がともに25.7%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|------------------------|-----|--------|
| 毎年 | 7 | 3.7% |
| 2年に1回 | 26 | 13.9% |
| 大会出場を希望制にする | 48 | 25.7% |
| 大会は不要 | 48 | 25.7% |
| 操法大会の代わりに実践に近い訓練の充実を図る | 56 | 29.9% |
| 無回答 | 2 | 1.1% |
| 合計 | 187 | 100.0% |

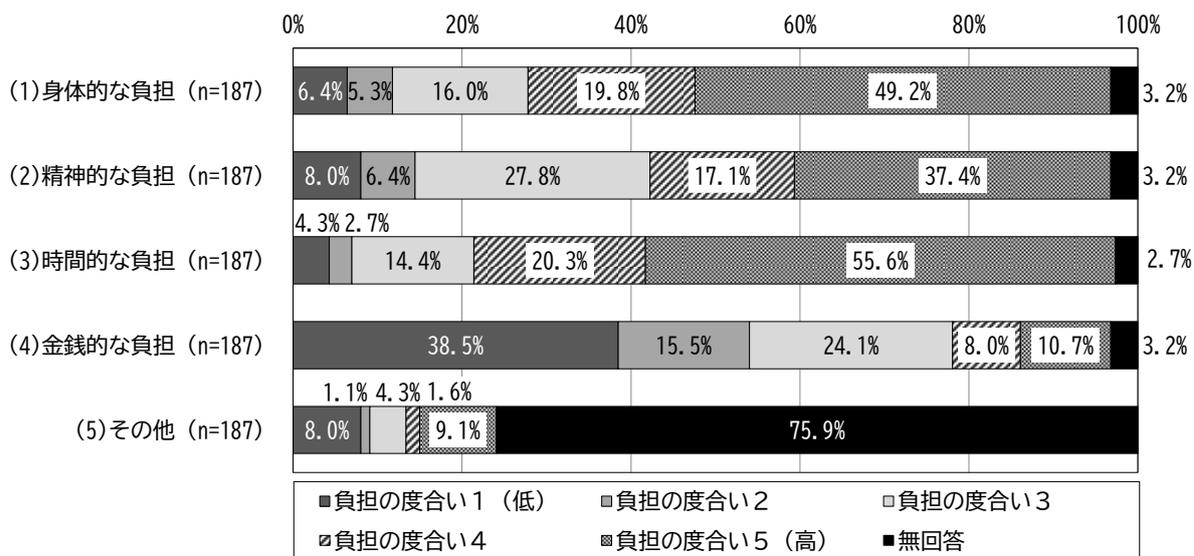
【方面隊別クロス集計】



問 27-1 消防操法大会について、それぞれの程度の負担がありますか。負担の度合い（1～5）に○をつけてください。（○は1つ）

「負担の度合い1（低）」では、『(4)金銭的な負担（参加することで商売（売上）に影響する等）』が38.5%と最も多く、次いで、『(2)精神的な負担』が8.0%となっています。また、『(5)その他』が8.0%となっています。

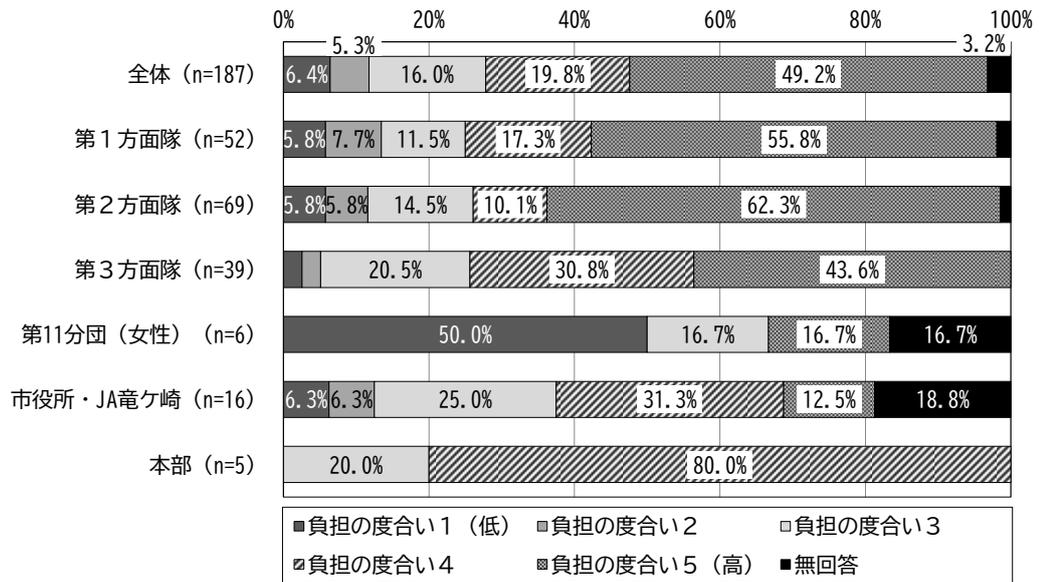
「負担の度合い5（高）」では、『(3)時間的な負担（家庭・家族との時間減少による家族への負担等）』が55.6%と最も多く、次いで、『(1)身体的（体力的）な負担』が49.2%、『(2)精神的な負担』が37.4%となっています。



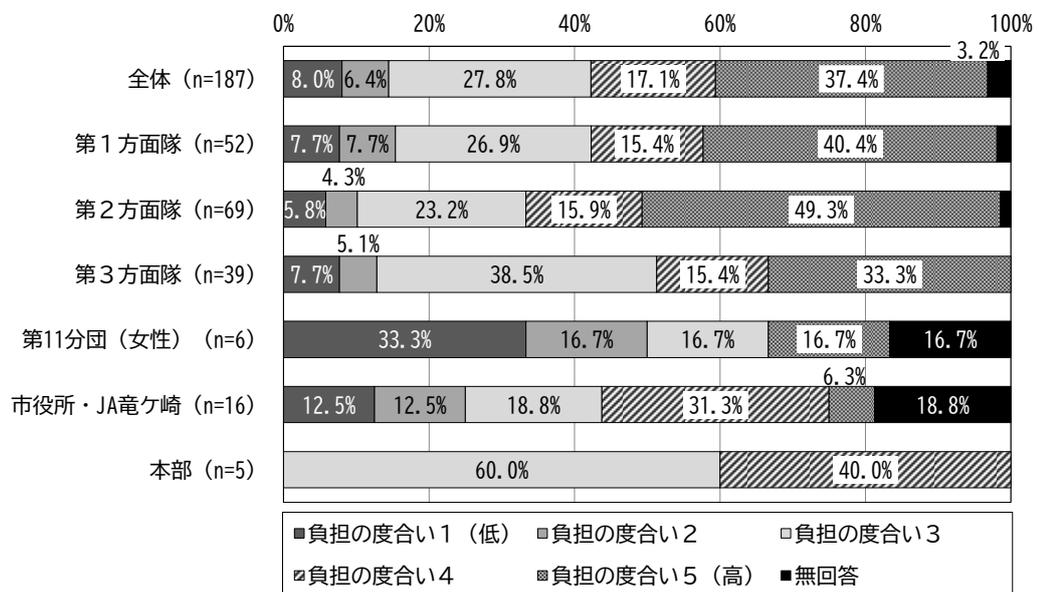
| 項目 (度数) | 負担の度合い1 (低) | 負担の度合い2 | 負担の度合い3 | 負担の度合い4 | 負担の度合い5 (高) | 無回答 | 合計 |
|--|-------------|---------|---------|---------|-------------|-------|--------|
| (1)身体的（体力的）な負担 | 12 | 10 | 30 | 37 | 92 | 6 | 187 |
| (2)精神的な負担 | 15 | 12 | 52 | 32 | 70 | 6 | 187 |
| (3)時間的な負担 （家庭・家族との時間減少による家族への負担等） | 8 | 5 | 27 | 38 | 104 | 5 | 187 |
| (4)金銭的な負担 （参加することで商売（売上）に影響する等） | 72 | 29 | 45 | 15 | 20 | 6 | 187 |
| (5)その他 | 15 | 2 | 8 | 3 | 17 | 142 | 187 |
| 項目 (構成比) | 負担の度合い1 (低) | 負担の度合い2 | 負担の度合い3 | 負担の度合い4 | 負担の度合い5 (高) | 無回答 | 合計 |
| (1)身体的（体力的）な負担 (n=187) | 6.4% | 5.3% | 16.0% | 19.8% | 49.2% | 3.2% | 100.0% |
| (2)精神的な負担 (n=187) | 8.0% | 6.4% | 27.8% | 17.1% | 37.4% | 3.2% | 100.0% |
| (3)時間的な負担 （家庭・家族との時間減少による家族への負担等） (n=187) | 4.3% | 2.7% | 14.4% | 20.3% | 55.6% | 2.7% | 100.0% |
| (4)金銭的な負担 （参加することで商売（売上）に影響する等） (n=187) | 38.5% | 15.5% | 24.1% | 8.0% | 10.7% | 3.2% | 100.0% |
| (5)その他 (n=187) | 8.0% | 1.1% | 4.3% | 1.6% | 9.1% | 75.9% | 100.0% |

【方面隊別クロス集計】

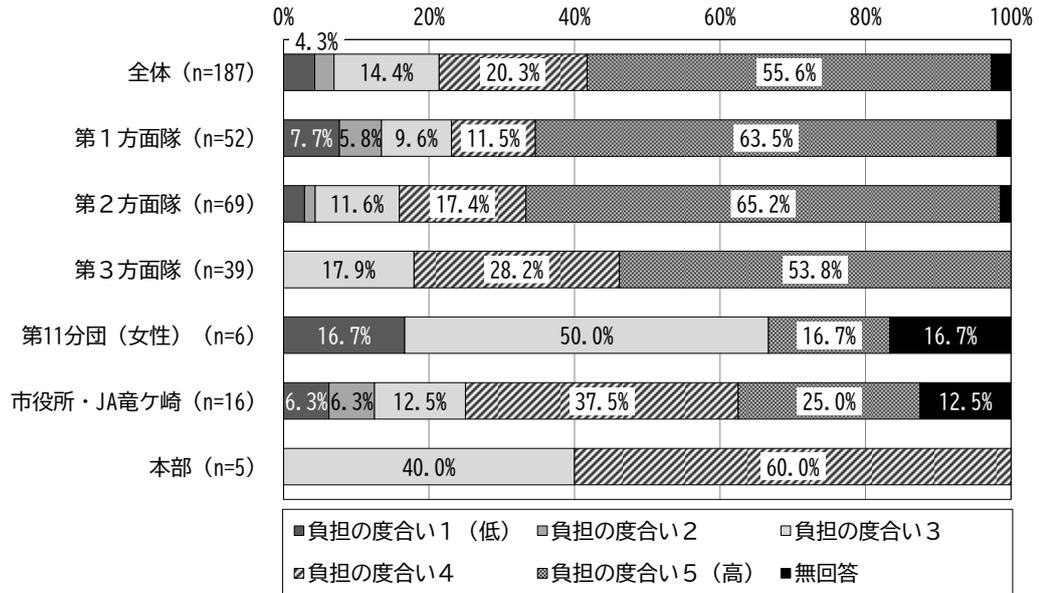
(1) 身体的な負担



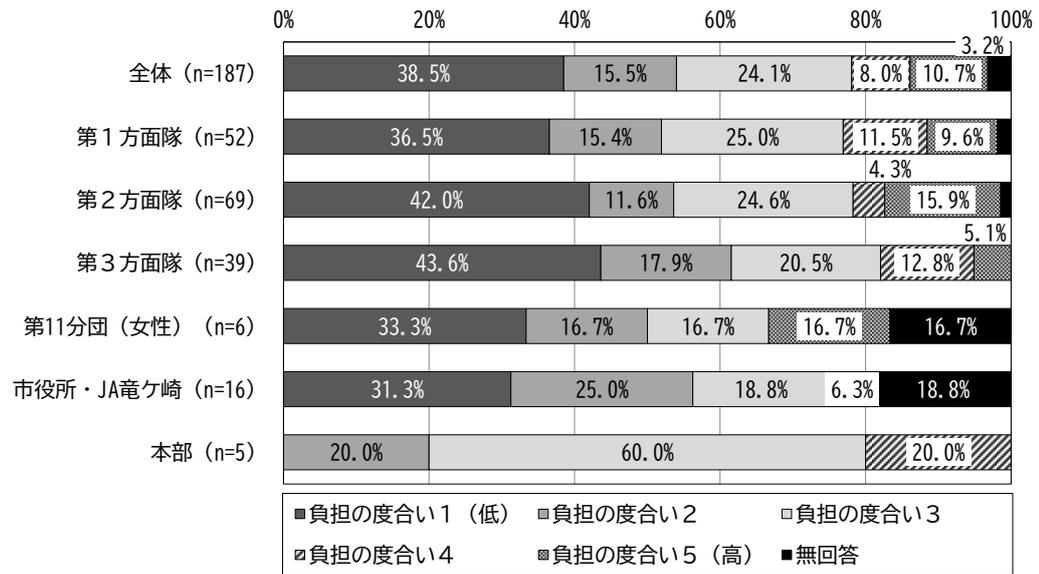
(2) 精神的な負担



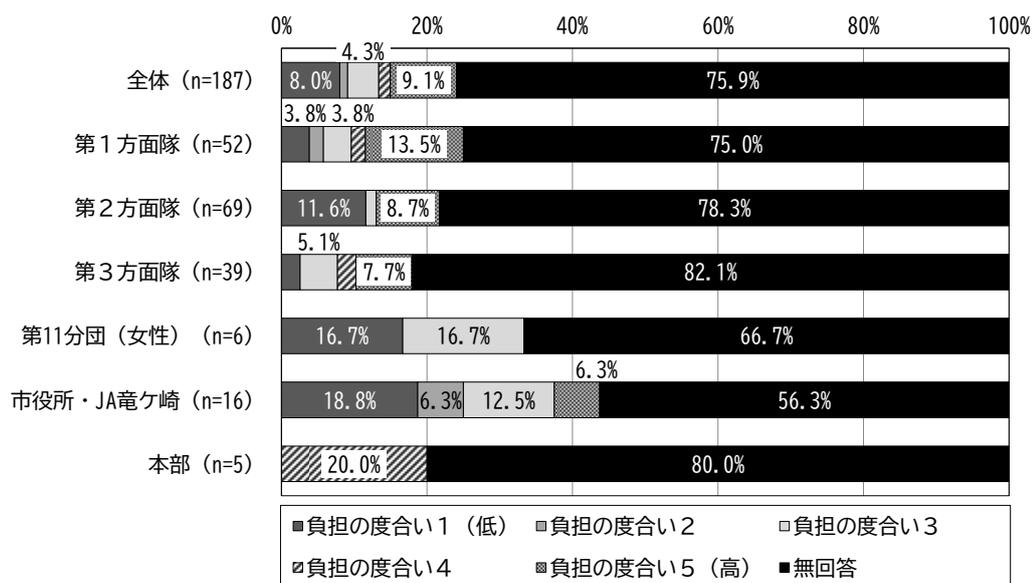
(3) 時間的な負担



(4) 金銭的な負担



(5) その他



問 28 消防操法大会について、どのように開催すればよいか、ご意見をご記入ください。

【時期・時間について】

- 消防操法大会の時期を涼しい時にする。
- 10月の第2土曜日第2日曜日、午前7時早朝より、午前中、お昼の正午までに終了できるようにすることができれば。
- 練習できる曜日と時間帯でチームを編成できれば良いと思う。(隣接分団の中で)
- 気温が低い時期に開催、持回り。

【出場方法について】

- 持ち回りで県南大会に出る。
- 南部大会は優勝分団が行くのではなく、持ち回りで出場した方が良いと思う。
- 不要、又は希望する団のみ参加。
- 希望する分団のみ大会へ出場してもらう。他の分団には、サポートしてもらう仕組みをつくる。(片付けの手伝いや、飲料等の支給) 出場者には手厚く労う(可能なら金銭も)。
- 県南大会に出場できる分団を選出する。
- 難しい問題ではあるが、現状を見ても団員減少、高齢化の中、分団対抗とか、希望の部(チーム)で良いのでは。
- 龍ヶ崎大会をなくし、県南大会を持ち回りにする。もしくは希望性にする。
- 分団ごとに代表をローテーション。
- 希望する分団の関係者のみで開催する事によって、無駄な予算を削る事ができると思っ
てます。
- 希望制。
- 持ち回り制にしたら良いと思う。
- 希望したチームが出場する。
- 市の大会は無くして。南部大会は出場したい団がやれば良い。出場したい団が無ければ、出なければ良い。そもそも操法が消防団の勧誘の妨げではある。訓練の一環で操法の練習が報酬が出るなら、また意見は分かれる。
- やりたいところが、やった方がいい。
- やりたい人だけやれば良い。
- 順番制にしてほしい。
- 希望団若しくは希望者での県南以上参加。対価として参加報酬の支給。
- 希望の部のみ参加。
- 希望制で出たいところだけにする。
- それぞれの団事情もあるので、希望制が望ましいと思う。
- 操法大会は希望制で行い、参加したいところだけ行けばいいと思います(市内大会以外も)。持ち回り制にしても、高齢化が今後も進む中で、一部の方が手伝い等で参加させられて、負担が減らない。
- 消防団員の高齢化及び人数の減少が、年々進行している現状を考えれば、市内大会の開催は、その都度縮小すると考えられます。このため、県南大会への出場チームについては、希望制や持ち回り制などに移行せざるを得ないと考えます。
- 順番制。
- 選抜もしくは持ち回り。
- 選抜大会にして、市内合同チームで県南大会に出れば良いと思う。
- 任意参加。
- 市の代表は持ち回りがいいかと思えます。小型については分団ごとに持ち回り(10分団は1つしかないので8分団と合同) 選手は操法大会で選手をやったことがない人(指揮者も)
- 龍ヶ崎市の大会は開催せず、輪番制で県南地区大会へ出場する。
- 参加するか否か事前に各部へ確認し、希望する部のみ参加とする。

- 大会を行うなら、記念開催とし、県南南部大会への出場は、基本希望制にし、希望がない場合はあらかじめ決めておいた順番（輪番制）にする。
- 市内大会優勝者が県南大会に出場するのではなく、持ち回りにする。市内大会の雰囲気は好きなので、練習して参加して順位を付けるだけでいい。
- 順番制。

【制度・内容について】

- タイムを無くすか、年齢ハンデ制にする。
- 消防団員や家族の負担軽減を図り、消防団が持つ技術の伝承。活動方針を策定し、訓練の標準化、機能取得を図った大会を目指し、市民にアピールする大会にした方が良いと思います。
- 優勝分団には豪華景品が出ればみんなやる気が上がる。
- 初めて参加した時に、現場で悠長に規律を行っている余裕なんて無いだろうと思いましたが、今でもその考えに変わりはありません。単純に、早く正確に安全に消化活動が出来るか、という事を競う大会であれば良いと思います。
- 昨年度の様な職員の採点低下ならば開催する意味がないと思う。選手は大変な練習をして居るのだから職員も採点にしっかりしてほしい。出来ないのでも有れば、操法大会より実践に近い模擬訓練の方がいいと思う。
- 消防団とは何かということの自覚は、様々な不自由さを経験する事と団体行動であるからこそ形成される要素が大きいと思うが、開催頻度や参加訓練の在り方は、構成員の高齢化も踏まえ、スリム化せざるを得ない状況に有ると思われる。
- 士気を高めるためや、技術向上のためには不要とまでは思わないが、より実際に役立つ内容にすべきと思う。
- 消火活動の基礎となるもののため、隔年開催でも続けていくべきと考えるが、身体的負担が大きいため競技内容の変更は必要と感じる。
- 出場分団が減るのは確実になると思うので、強制せずに、できる範囲で運営すればいいと思います。
- 男女平等の時代なので、男女混合でやるとかすると関心も高まるのでは。
- 大会があっても、各分団の温度差があり過ぎる。必要なのは技術習得の標準化だと思う。火災現場でポンプ車の使い方が分からず、慌てている団員を見かける。火災が少なくなると喜ばしいが、技術及び知識を次世代に伝える事が出来ていない。
- 規律、動作の基本が詰まった操法大会は毎年開催が望ましいと考えます。ただし、OBやベテラン団員などが優勝を義務づける風潮は排除すべき（負担の最たる部分はここかと思えます）。また、統一訓練でも、減点のポイントなど協議目線よりも、規律や動作について、必要とする理由と共に、丁寧に指導いただく方が重要と思います。
- 各団に若者（30歳未満）が入団する、体が動ける団員がいるなら毎年でもいい。市として1つのイベントとして住民が認知してもらえたらなど。
- 操法大会という旧態依然且つ形式的な内容の行事ではなく、例えば災害復旧方法や高齢者行方不明者捜索の連絡捜索体制の実戦練習等、より現実的な災害対応の活動を行う事が優先的かと考えます。旧態依然の大会に拘る事自体、時代に即していない為、周囲や団員内の理解も希薄になってきているとも思います。龍ヶ崎市が操法大会に変わる実践活動を実施することが全国へのアピールにもなり、注目もされると思いますのでご検討願います！
- スピードや美しさが求められる大会で、整列し、指を伸ばすなどの技術が、火災現場等で活かされる場面が正直想像できない。操法大会では、技術の定着、防災意識の啓発を通じて、地域防災力の向上が図られると思うが、それが消防団員の負担が大きい操法大会である必要性は疑問が残る。時代の在り方に合わせて、操法大会の在り方も再考される時期に来ていると思う。
- 無理のないように、かつ地域の人参加できるようにする。

- みんなが操作活動出来る訓練に。
- 市や本部の目指している所が明確ではない事に苛立ちを感じている。県南大会などで優勝を目指しているならもっと目的を明確に各分団、団員に周知し、目的を達成するような組織造りが出来ないのであれば意味がない。その半端な感じが各団にも連鎖して、ただの負担な行事になっている。閉会式が異常に長い。もっと時代にあった進行をしてほしい。
- 県南南部大会が隔年開催になりますので、市の大会も隔年開催として、開催しない年度は、実践消火訓練等を行えれば各団員さんも知識・スキルが向上すると考えます。
- 操法技術の習得は不可欠だと思いますので、まずは2年に1回という形を複数年続けて、再度消防団員から意見を募ってはいかがでしょうか。
- 実用的な訓練を取り入れて、イベントの内容もイベント要素（アスレチックなもの）を取り入れたら盛り上がるのではないかと。一方、年齢を重ねたベテランの方には、知識を問うクイズなどを入れて団体戦のイメージで競うことをすれば一定の盛り上がりはあるかと想像します。
- 4年に一度。
- タイムで競うとなると体力の差が大きいと感ずます。競技方法があるので難しいところですが、迅速に消火できるための技術向上なので、大会出場団に支援金や、優勝したら活動資金などを出すと良いかと。
- ポンプ操法自体は操作の基本であるため、継続すべきだと思います。しかし、現在の消防団で、走っての伝令や鳶口を使つての破壊活動等は現実的ではないと思います。消防の装備設備を拡充・強化しつつあるのであれば、訓練もそれら装備を活用したものであるべきだと思います。

【大会の有無について】

- 操法大会については、大会日及び日々の練習等、負担がかなり大きいため、無いことが一番良いと思う。
- 大会は無くして、訓練を実施すればよし。
- 不要。
- やめてほしい。
- 大会は不要。
- 団員にとって、最も負担となる操法はなくすべき。
- 無くせばいい。
- 廃止。
- 大会は廃止する。
- やらない。
- 消防団の高齢化により、比較的若い団員の負担が大きい。同じ団員でも、負担格差がある。大会はやらない。
- やりたい分団でやれば良いと思う。市の大会もなくすべきだと思う。
- そもそも大会は必要かが疑問。
- 実状と乖離がある大会は必要ない。
- 時間とお金がかかるし、消化活動において無意味なことが多いため、完全廃止をするべき。それ以外に水出し訓練や、消化活動に特化した訓練をした方が、身のためになる。
- 不要。
- 中止する代わりに、基本的知識の座学と操作法の実技訓練を充実させては。
- 不要。
- 開催そのものが時代に合っていない。本職ではないなかで、様々な負担を強いてまで行う意義が無いと思われます。
- まずは、即時中止し、その後、操法大会のあり方を地域単位に検討する。

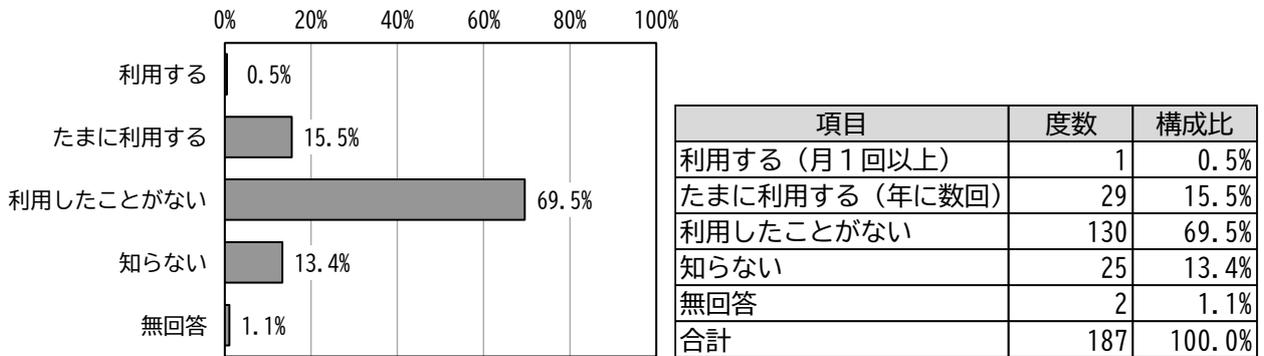
【その他】

- いままで通りで良い。
- 全国大会優勝を目指せ！
- 操法大会をやっても水出しはできません。1人でも水を出せるような訓練（1～4番員の動作）をした方が良い。
- 今まで通りのやり方で良いと思います。
- 参加することに意義があるはもう古い。若者に認められない組織は見直しが必要。
- 練習はするが、操作方法がきちんとしていれば良いと思うので、大会でなく、個別に見て回れば良いのではないか。
- 開催しない年は市民防災フェアなどの行事を企画して、市民に、防災に役立つ知恵を伝えたり、体験（水消火器などによる火消し体験、簡単な防災食づくり、災害時に使える新聞紙スリッパなど）をしたりして、市民ひとりひとりが、防災の意識を高めてもらう事や、救急時の応急処置、AEDの使い方などの体験、見学をしてもらえたらいいと思う。
- 弊分団では大会の練習を団員同士の結束を強める機会としてきたので、代替となる訓練や催しがあれば、必ずしも操法大会でなくてもいい。

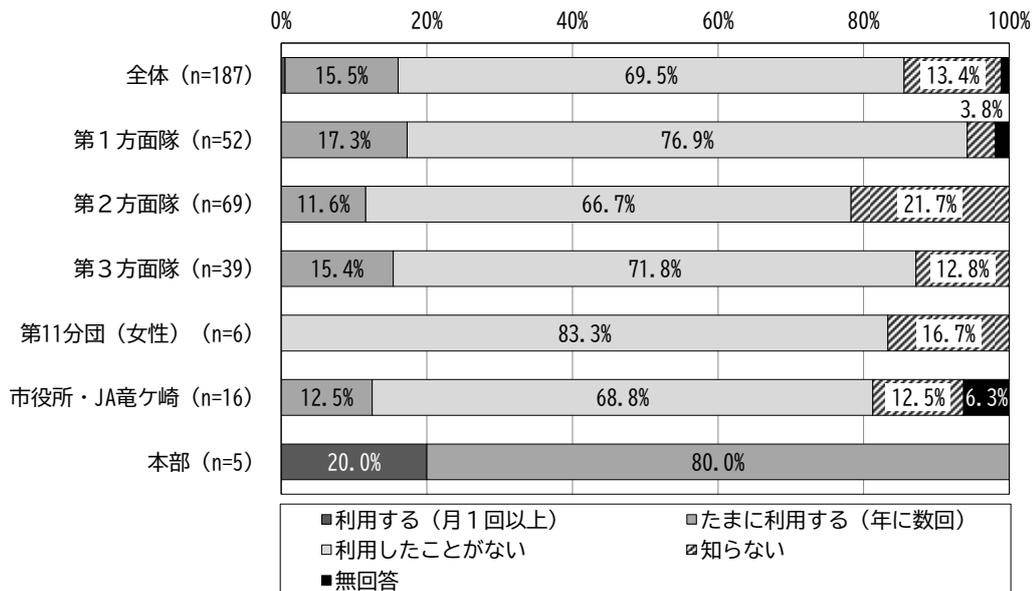
7. 消防団応援の店制度・消防団協力事業所制度について

問 29 「消防団応援の店制度」について、利用したことがありますか。(○は1つ)

「消防団応援の店制度」を利用したことがあるかについては、「利用したことがない」が69.5%と最も多く、次いで、「たまに利用する（年に数回）」が15.5%、「知らない」が13.4%となっています。



【方面隊別クロス集計】



問 29 で「利用する（月1回以上）」または「たまに利用する（年に数回）」を選択した方のみ回答

問 29-1 どのようなサービスを最も多く利用しましたか。（○は1つ）

最も多く利用したサービスについては、「飲食店」が26件と最も多く、次いで、「食品販売」が2件、「その他業種」が1件となっています。また、「その他」が1件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------|-----|--------|
| 飲食店 | 26 | 86.7% |
| 食品販売 | 2 | 6.7% |
| その他販売 | 0 | 0.0% |
| その他業種 | 1 | 3.3% |
| その他 | 1 | 3.3% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 30 | 100.0% |
| 非該当 | 157 | |
| 合計 | 187 | |

※回答者数が少ない為、グラフ省略。

【方面隊別クロス集計】

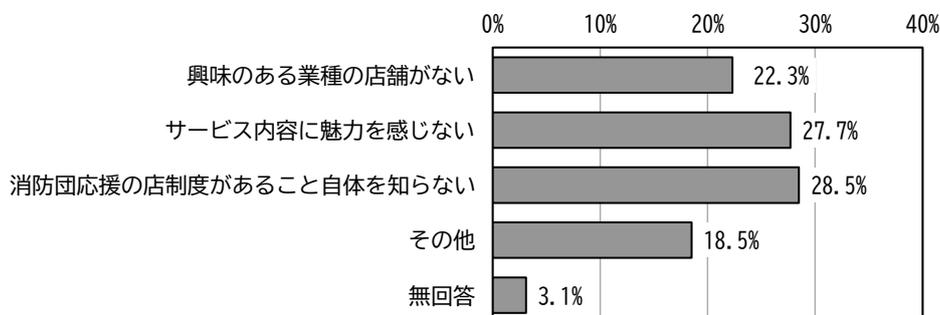
（上段：度数、下段：構成比）

| | | 飲食店 | 食品販売 | その他販売 | その他業種 | その他 | 無回答 | 回答者数 | 非該当 |
|------|-----------|-------------|------------|-----------|------------|------------|-----------|------|-----|
| 全体 | | 26 86.7% | 2 6.7% | 0 0.0% | 1 3.3% | 1 3.3% | 0 0.0% | 30 | 157 |
| 方面隊別 | 第1方面隊 | 9 100.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 9 | 43 |
| | 第2方面隊 | 8 100.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 8 | 61 |
| | 第3方面隊 | 2 33.3% | 2 33.3% | 0 0.0% | 1 16.7% | 1 16.7% | 0 0.0% | 6 | 33 |
| | 第11分団（女性） | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 | 6 |
| | 市役所・JA竜ヶ崎 | 2 100.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 2 | 14 |
| | 本部 | 5 100.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 5 | 0 |

問 29 で「利用したことがない」を選択した方のみ回答

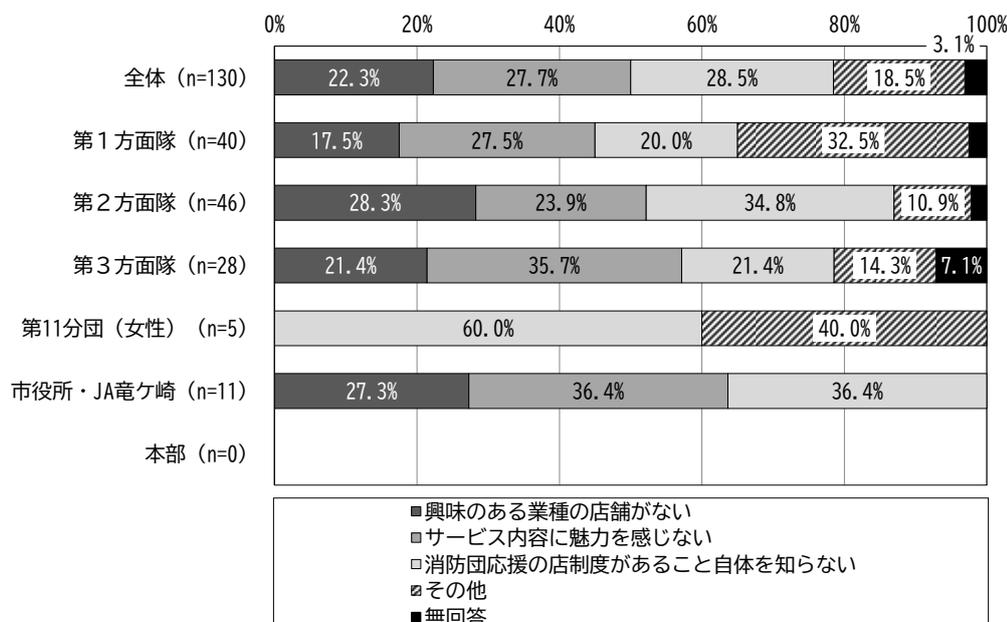
問 29-2 利用しない1番の理由は何ですか。(〇は1つ)

利用しない1番の理由については、「消防団応援の店制度があること自体を知らない」が28.5%と最も多く、次いで、「サービス内容に魅力を感じない」が27.7%、「興味のある業種の店舗がない」が22.3%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----------------------|-----|--------|
| 興味のある業種の店舗がない | 29 | 22.3% |
| サービス内容に魅力を感じない | 36 | 27.7% |
| 消防団応援の店制度があること自体を知らない | 37 | 28.5% |
| その他 | 24 | 18.5% |
| 無回答 | 4 | 3.1% |
| 回答者数 | 130 | 100.1% |
| 非該当 | 57 | |
| 合計 | 187 | |

【方面隊別クロス集計】



問 30 「消防団応援の店制度」について、具体的にどのようなお店なら使いたいですか。具体的にご記入ください。

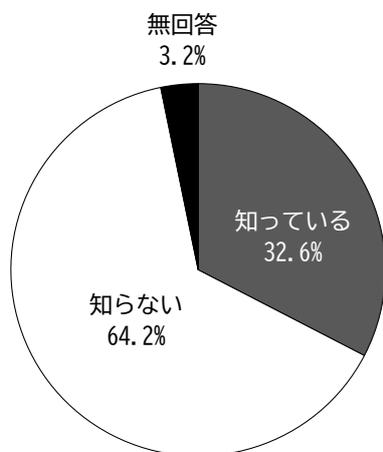
複数のご意見をお書きいただいた方については、そのすべての分類についてカウントしています。

- アプリ等があって、ポイントを貯めて使うなどしたらよいかと思います。
- サービス（割引など）はそのお店にとって負担になると思う。本当の知り合いや友達なら割引よりも定価で払うべき。
- すみやかに廃止し、他の助成制度の検討を図る。
- どのようなお店でも応援の店が増えれば使うことになります。
- ヘアーカット
- ポイントが貯まり、消防団のオリジナルのグッズと交換できる。
- まだまだ少ないので協力店を増やす。また、行政サービスなどの特典もあると良いかと。
- もっと多くの飲食店（居酒屋等）で利用できると、利用頻度が増えるのでは？と思います。
- よく利用する近所の飲食店。
- よりサービスが良い店。
- ワークマン、ホームセンターなど活動に使用する物を買える場所や飲食店。
- 外食チェーンでも使えたりするとありがたい。
- 割引がある。
- 気軽に利用しやすい店。
- 個人商店ばかりでなくチェーン店などであれば、家族にも還元できる余地があると思います。
- 個人的な意見ですが、甘党なのでケーキ屋さんが加盟してくれるとうれしいです。
- 市内スーパー、ホームセンターなど個人経営のお店だけでなく、普段買い物に行くところ。そもそも、龍ヶ崎市に現在住んでいないので他市町村でも使えると嬉しいです。
- 市内個人店舗で使ってあげたいがお店がない。
- 職員販売のスーパー（物価高騰のおり）
- 店の種類関係なく使えたら。
- 家電等の生活必需品
- 家電量販店
- 買い物に行ける時間帯ではない。
- 物販等の販売店
- 魅力的なサービスがある。
- 携帯電話
- ホームセンター
- スポーツ、お風呂の施設
- 買い物など
- 本屋
- 大型店
- ラーメン屋

- マクドナルド
- 漫遊亭
- 飲食店（同様 30 件）
- 居酒屋（同様 2 件）
- ガソリンスタンド（同様 4 件）
- コンビニ（同様 7 件）
- ドラッグストア（同様 3 件）
- スーパーマーケット（同様 9 件）
- 日用品（同様 1 件）
- 特になし。（同様 4 件）
- 利用するつもりはない。（同様 1 件）
- よくわからない。
- 興味ありません。

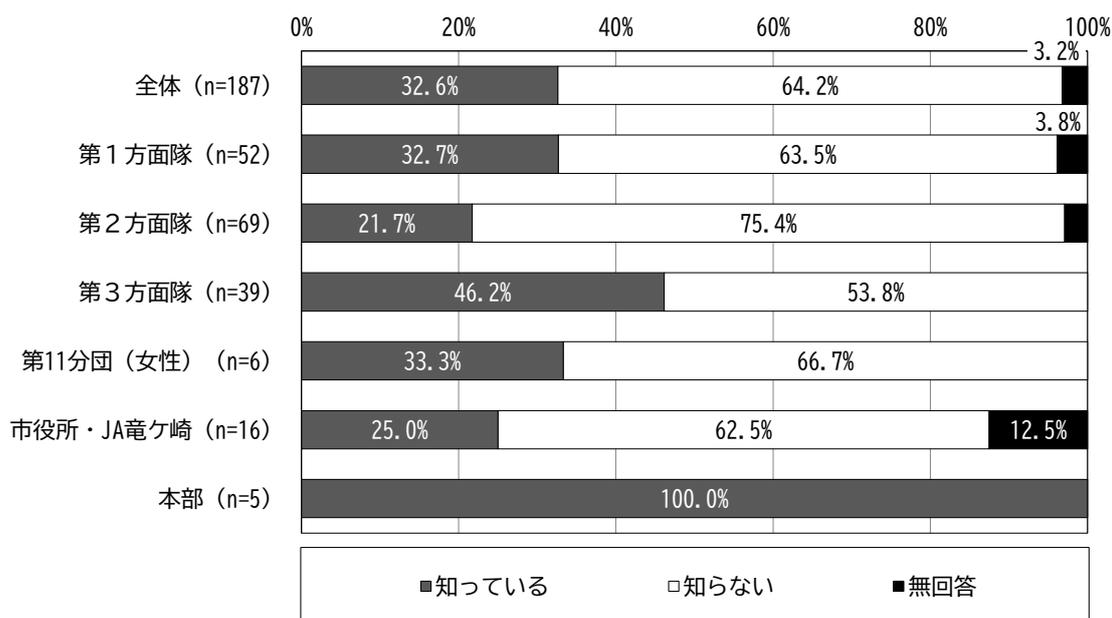
問 31 「消防団協力事業所制度」を知っていますか。(〇は1つ)

「消防団協力事業所制度」の認知度については、「知っている」が 32.6%に対し、「知らない」が 64.2%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------|-----|--------|
| 知っている | 61 | 32.6% |
| 知らない | 120 | 64.2% |
| 無回答 | 6 | 3.2% |
| 合計 | 187 | 100.0% |

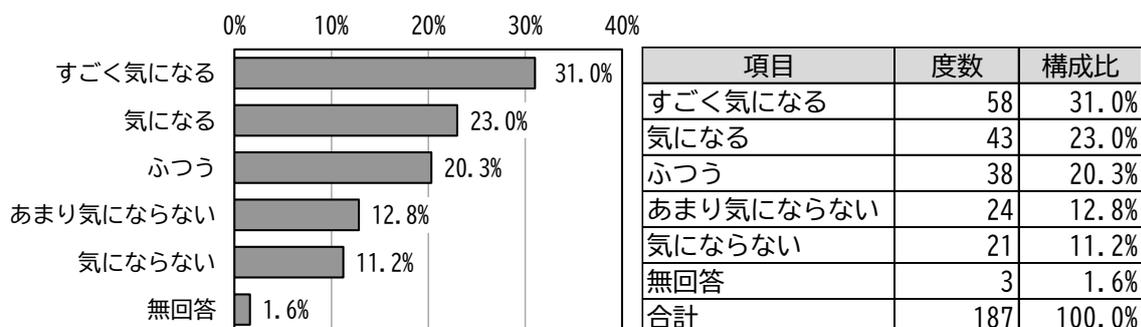
【方面隊別クロス集計】



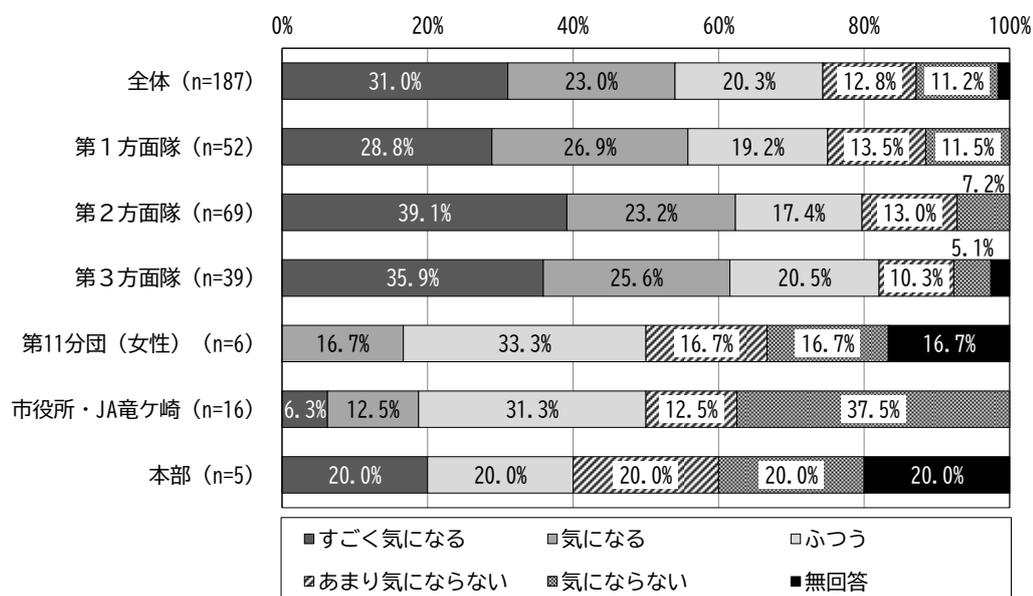
8. 消防団機庫について

問 32 あなたの分団の消防団機庫は、経年劣化による破損や汚損が気になりますか。(〇は1つ)

分団の消防団機庫は、経年劣化による破損や汚損が気になるかについては、「すごく気になる(31.0%)」、「気になる(23.0%)」を合わせた『気になる(計)』が54.0%に対し、「あまり気にならない(12.8%)」、「気にならない(11.2%)」を合わせた『気にならない(計)』が24.0%となっています。また、「ふつう」が20.3%となっています。

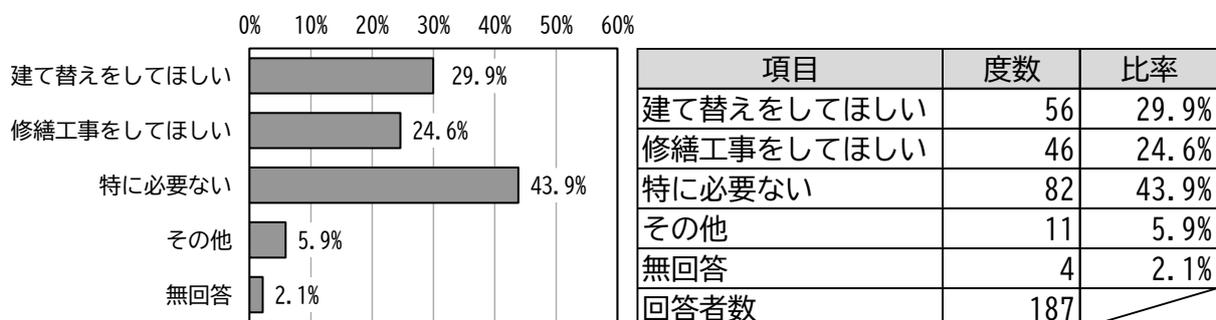


【方面隊別クロス集計】



問 33 今後、あなたの分団の消防機庫の建て替えや、大規模修繕を行いたいですか。(複数選択可)

今後、分団の消防機庫の建て替えや、大規模修繕を行いたいかについては、「特に必要ない」が 43.9%と最も多く、次いで、「建て替えをしてほしい」が 29.9%、「修繕工事をしてほしい」が 24.6%となっています。



【方面隊別クロス集計】

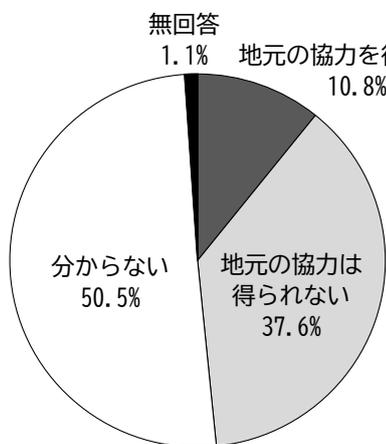
(上段：度数、下段：比率)

| | | 建て替えをしてほしい | 修繕工事をしてほしい | 特に必要ない | その他 | 無回答 | 回答者数 |
|------|-----------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------|
| 全体 | | 56 29.9% | 46 24.6% | 82 43.9% | 11 5.9% | 4 2.1% | 187 |
| 方面隊別 | 第1方面隊 | 16 30.8% | 15 28.8% | 24 46.2% | 0 0.0% | 0 0.0% | 52 |
| | 第2方面隊 | 29 42.0% | 15 21.7% | 25 36.2% | 3 4.3% | 0 0.0% | 69 |
| | 第3方面隊 | 10 25.6% | 15 38.5% | 14 35.9% | 4 10.3% | 1 2.6% | 39 |
| | 第11分団(女性) | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 16.7% | 4 66.7% | 1 16.7% | 6 |
| | 市役所・JA竜ヶ崎 | 0 0.0% | 0 0.0% | 15 93.8% | 0 0.0% | 1 6.3% | 16 |
| | 本部 | 1 20.0% | 1 20.0% | 3 60.0% | 0 0.0% | 1 20.0% | 5 |

問 33 で「建て替えをしてほしい」または「修繕工事をしてほしい」を選択した方のみ回答

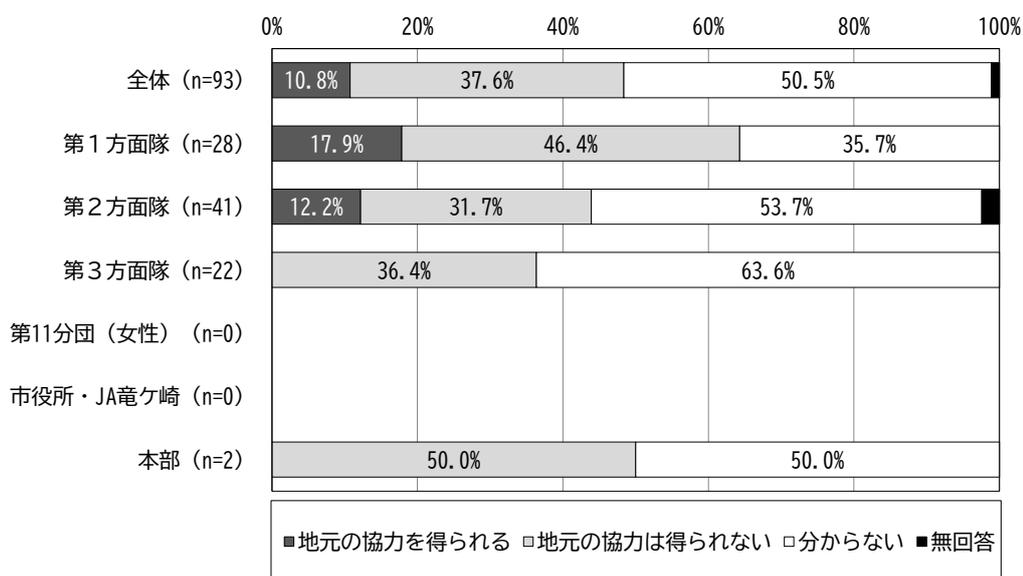
問 33-1 その際に、地元の住民自治組織に協力は得られそうですか。(〇は1つ)

建て替えや、大規模修繕を行う際に、地元の住民自治組織に協力が得られるかについては、「分からない」が 50.5%と最も多く、次いで、「地元の協力は得られない」が 37.6%、「地元の協力を得られる」が 10.8%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| 地元の協力を得られる | 10 | 10.8% |
| 地元の協力は得られない | 35 | 37.6% |
| 分からない | 47 | 50.5% |
| 無回答 | 1 | 1.1% |
| 回答者数 | 93 | 100.0% |
| 非該当 | 94 | |
| 合計 | 187 | |

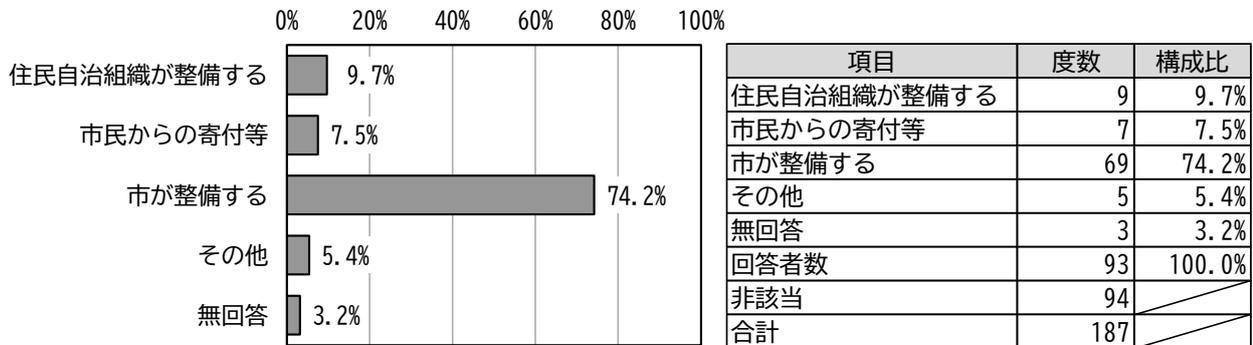
【方面隊別クロス集計】



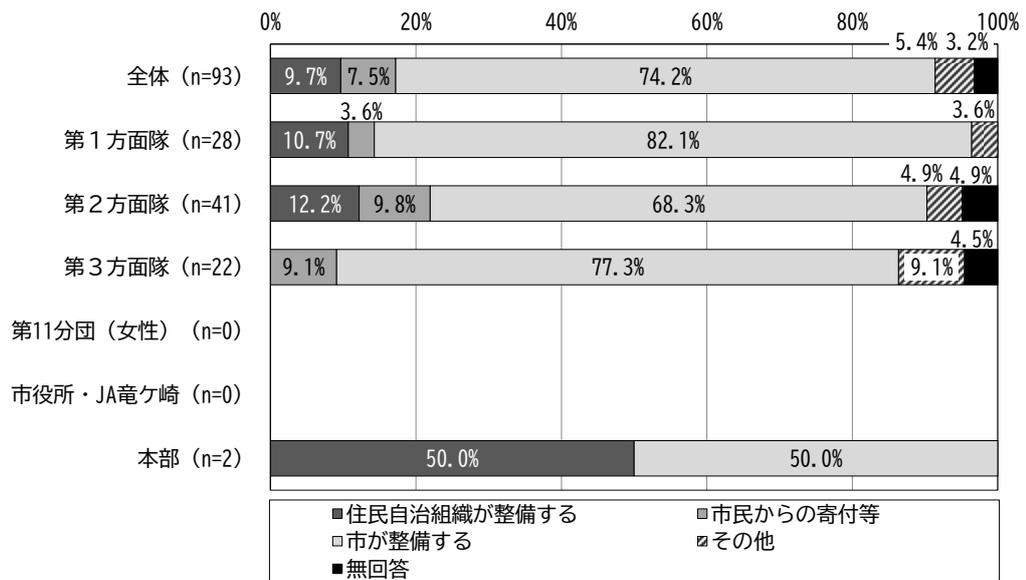
問 33 で「建て替えをしてほしい」または「修繕工事をしてほしい」を選択した方のみ回答

問 33-2 建て替えや修繕はどのような方法を希望しますか。(〇は1つ)

建て替えや修繕はどのような方法を希望するかについては、「市が整備する」が 74.2%と最も多く、次いで、「住民自治組織が整備する」が 9.7%、「市民からの寄付等」が 7.5%となっています。

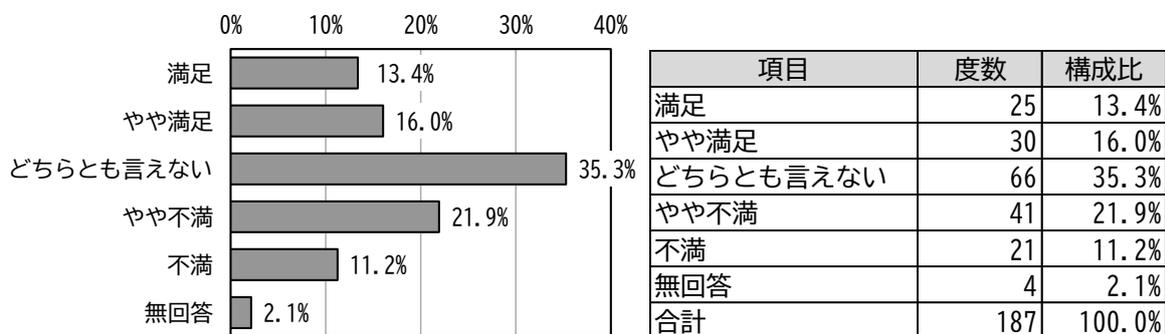


【方面隊別クロス集計】

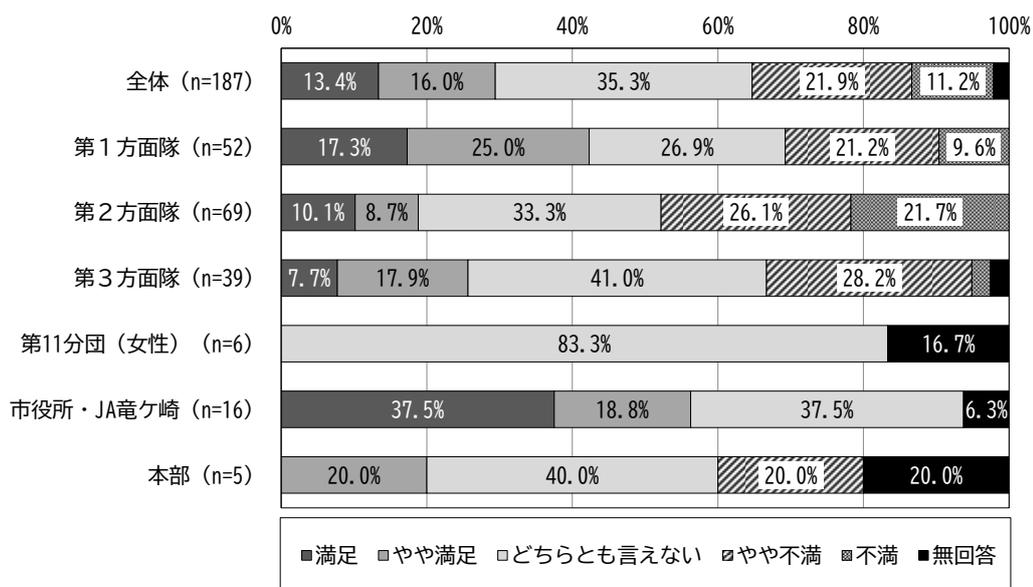


問 34 現在の消防機庫に対する満足度を教えてください。(○は1つ)

現在の消防機庫に対する満足度については、「満足(13.4%)」、「やや満足(16.0%)」を合わせた『満足(計)』が29.4%に対し、「やや不満(21.9%)」、「不満(11.2%)」を合わせた『不満(計)』が33.1%となっています。また、「どちらとも言えない」が35.3%となっています。



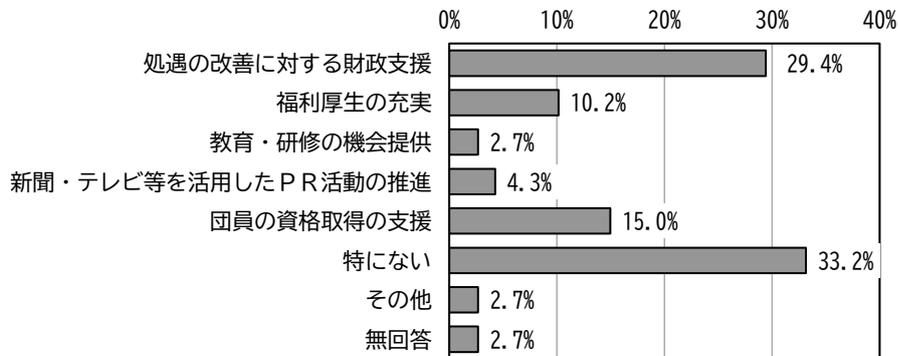
【方面隊別クロス集計】



9. 消防団に対する支援で期待すること

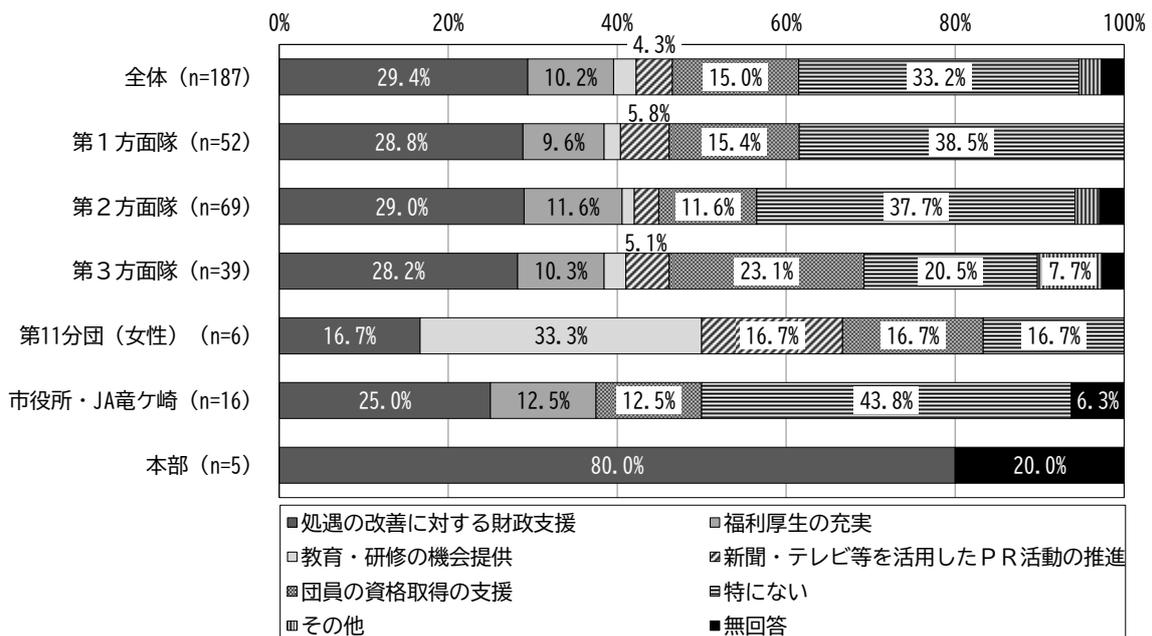
問 35 今後、消防団に対する支援について、最も期待するものはどれですか。(〇は1つ)

今後、消防団に対する支援について、最も期待するものについては、「特にない」が33.2%と最も多く、次いで、「処遇の改善に対する財政支援」が29.4%、「団員の資格取得の支援」が15.0%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------------------|-----|--------|
| 処遇の改善に対する財政支援 | 55 | 29.4% |
| 福利厚生 of 充実 | 19 | 10.2% |
| 教育・研修の機会提供 | 5 | 2.7% |
| 新聞・テレビ等を活用したPR活動の推進 | 8 | 4.3% |
| 団員の資格取得の支援 | 28 | 15.0% |
| 特にない | 62 | 33.2% |
| その他 | 5 | 2.7% |
| 無回答 | 5 | 2.7% |
| 合計 | 187 | 100.0% |

【方面隊別クロス集計】



問 35 で「特にない」以外を選択した方のみ回答

問 35-1 問 35 で選択した項目について、具体的にどのようなことを期待するかご記入ください。

【処遇の改善に対する財政支援】

- 団員の確保をしていく為にも、処遇の改善や団員になると「こんな特典がある」みたいなものがないと、これから先、新入団員を増やしていくのは難しいと思う。(たとえば税金の優遇など)
- 各分団、部に活動費を支給。
- ボランティアとはいえ、出場に見合った費用弁償にすべき。
- 消防団員個人に対する金銭的支援を助成する。
- 出勤された方への支援を増す。
- 基本消防団員のうち、団員、部長の職にある者と機能別消防団員の年額報酬の改正。
- 報酬の引上げ。
- 報酬を2倍にする。
- 年間一度も出なかった者に対し、アンケート調査をし、3年間ゼロの者は、強制退団とする(市の負担減)。出勤手当のアップ。
- 新入団員については、物理的に難しい時代である。現団員を維持することを考えれば、報酬や手当の引き上げ以外ないと思う。
- 仕事をもちながらの消防団の活動に対して、処遇の改善は必要だと思います。
- 消防団に対しての優遇があれば、少しでも団員増加に好影響がありそう。
- 年報酬の賃上げ。
- 年報酬や活動に対する報酬のアップ。
- 手当の増額。
- 報酬アップ。
- 報酬増。
- 操法大会へ参加している部への優遇措置。
- 一晩中火災に出て、数千円で良いはずがない。活動費のアップ。

【福利厚生 of 充実】

- 飲食店の割引等。
- 応援の店を増やす。たつのこアリーナのジム無料等。
- 消防団員ならではの市内市外に関する行政特典の充実。ふるさと納税返礼のような仕組み。
- 福利厚生が充実すれば、消防団入団に興味を持つ人も増えるかと思えます。
- 旅行などの宿泊施設。

【教育・研修の機会提供】

- 学校などで子ども達に対し、火災の危険性などを教育したり。
- 団員同士の交流やレクリエーションの機会等。
- 平時から災害時まで、状況に応じた幅広く実践的な訓練の機会。

【新聞・テレビ等を活用したPR活動の推進】

- イメージアップして、消防団に入団し活動していることをすごいことだと思われるようになってほしい。
- 消防団協力企業をもっとアピールしてほしい。
- 少子化の現状をよく理解していただき、若者が入りたくなるPR方法を考えて下さい。
- 市の財政も厳しいかと思いますが、処遇（報酬・手当）、また、りゅうほ一等の広報誌にて、団員の色々な活動を市民の皆さんに周知していければ、各団員さんもやりがいを実感できるのでは？
- 新入団員加入へのサポート。もっと市からの発信で、加入促進のアピールを行ってください。

【団員の資格取得の支援】

- ポンプ車の運転の為に免許取得。
- 免許取得助成等。
- 活動を通して、自分自身も成長したい為、応急手当普及員を取得したいが、話が進まないです。
- ポンプ車を運転できない若者が多い。在籍5年以上の方には準中型免許取得の補助があってほしい。
- 消防士、救命士、たまたがけ、クレーン等の資格取得支援。
- 消防団が必要とする資格を考えていただきたい。
- 普通免許で運転できる車両総重量が3.5トン未満になったため、消防車を運転できない世代となっている。私は自費で限定解除したが、補助金を整備してほしい。
- 消防の資格取得。
- 新入団員は現在の消防車を運転できません。免許の区分によるものです。
- 若年団員への中型車免許の取得支援。
- 小型船舶免許。
- 消防車が運転できる自動車免許の取得。
- 退職後も必要とされる資格、免許。
- 危険物取扱等の一般で優遇されるような資格取得の一部費用を負担してほしい。
- ポンプ自動車を、運転できない人が増えてくる事が予想されるので、なにかしらの対応が必要。
- 準中型免許取得補助。

【その他】

- 消防器具の充実。
- ・操法大会より強化メンバーを選抜。全国大会優勝を目指す。・操法競技のスポーツ化で体力向上。・ニュータウン地区（新住民）に地元意識を持ってもらうため、積極的に入団できる体制づくり。
- 消防団の解散。
- 社会貢献できている肯定感にあふれた機運。

- 増える物がないのなら付加価値を増やすしかない。
- 公務員にする。
- 救命。

問 36 下記の物品（装備）について、必要な順に優先順位（第1位～第5位）をつけてください。

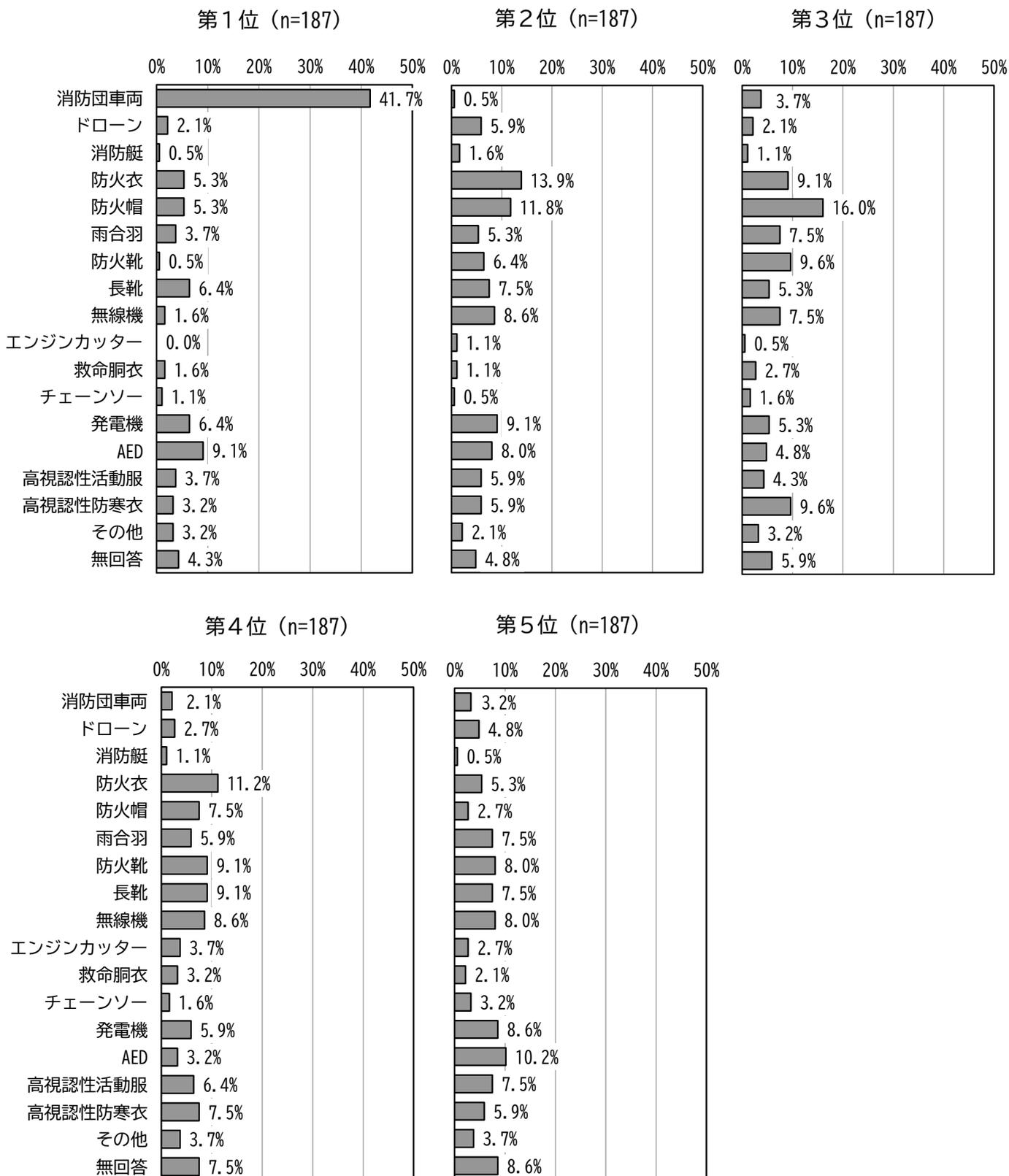
第1位では、「消防団車両（ポンプ車）」が41.7%と最も多くなっています。

第2位では、「防火衣」が13.9%と最も多くなっています。

第3位では、「防火帽（ヘルメット）」が16.0%と最も多くなっています。

第4位では、「防火衣」が11.2%と最も多くなっています。

第5位では、「AED（自動体外式除細動器）」が10.2%と最も多くなっています。



問 37 その他、消防団活動全般において意見がありましたら、自由に記入してください。

【消防団の組織について】

- 消防団員に出られる曜日と時間帯を調査し、それによりチームを作った方が良いのではないかと思います。(隣接の団の中で...) Aチーム・Bチームなど。
- 消防団は解散した方が良いです。その分の経費を消防署にまわし、全てプロが活動する。
- 男性と同じようには活動できないことはわかっているが、“女性”としての振る舞いを求められているように感じる。団員の高齢化もあると思いますが全体的に古い体制で、価値観のアップデートが感じられない。
- 素人の集まりなので細かい指導が必要(団ごとに)。
- 消火活動における、消防団の役割をアピールしてほしい。消防職員が居るのだから消防団は要らないのでは?という意見を良く聞く。各分団、それぞれ団員の関係性や町内との関係性が様々であり、旧態依然のチームもあれば、改革を進めているチームもある。災害でボランティアに出かける人は多いのに、消防団は敬遠されるのは、団運営が旧態依然のままだからでしょう。
- 旧態依然の消防団活動全般を変えるチャンスがコロナ禍にあったが、早急に抜本的改革が必要です。小手先の改善は、その場凌ぎなので意識が薄れます。高齢化少子化、市民人口減少はスタートしてしまっているのに、これまでの考え方を改めて、成人になった市民全員が消防団員として活動できる改革を望みます。市民防災員等の呼び名で、市民全員が活動できる、新しい組織と在り方を構築していきましょう。
- 今後は、若年層や女性の参加促進、多様な働き方に対応した活動体制の見直しを図り、より柔軟で持続可能な消防団活動の実現を目指していくべきだと思う。地域社会全体で支える体制づくりが、消防団の活動を支え、防災力強化につながると思います。
- 「自動更新制」が良悪両面を有しており、団員維持に繋がっている。。
- 自身が会った消防団について、良い印象を持たない人の多くは、質の悪い飲み会やそれに伴う団員の人間性への懸念があるようだった。長年の活動での負のイメージのようで、団に良い印象を持つ方でも、認識としてはあるらしく、今後団員として活動していくことが少し虚しくなることがある。

【消防団員の確保について】

- とにかく新入団員を確保するために、本気で大きな改善をしていかないと消防団はいずれ消滅してしまうと思う。仕事と両立してやっていくのは今の時代はかなりの負担であることをわかってほしい。
- なんと言っても新入団員に多数入団してほしい。
- 消防団員を増やすために、市役所が大々的にアピールをしたり、団員の少ない分団に職員を入団させたりするのも必要だと思う。
- とにかく人員の確保、女子婦人の(10代から20代)の志願者有りかと。女がいれば、男も集まってきます。男女平等。
- 地域が協力して団員確保などを行っていかないと人員減少は止まらないです。善意だけでは成り立たない現状があると思います。

- 地域柄、団員の高齢化が進み、今後新入団員の入団も見込めない状況。団の存続も危惧されています。限られた人数での運営には負担が大きく、限界がきていると感じております。

【操法について】

- 操法大会はிரない。大会があると若い団員が選手をするか、40~50代の団員が選手として参加しなければならない。8/17 辺りからの練習は、朝とはいえ、気温が高くつらいと思います。
- 操法大会の廃止又は希望制による開催をお願いします。
- 団員数が減少している中での操法大会の参加が負担が大き過ぎると思う。
- ひとまず操法大会を無くす事。機械操作や水出しの訓練は定期的に行ってもらいたい。

【処遇の改善に対する財政支援・補助について】

- 問 22、35 に関する事ですが、年報酬だけ受け取る幽霊団員がいる現状ですので、災害及び各種訓練等に参加する出場手当の増額の見直しを図る事が団員確保にもつながると思います。
- 消防団員の飲食や酒席の拡大や親睦旅行などに対し、市からの助成を行い、団員同士のコミュニケーションを深める対策を市役所をあげて取り組んでいくことが重要と考える。
- 町内、企業からの維持協賛金が本年半額以下に、次年からほぼゼロになります。廃部、退団を考えている者も多く、このようなケースでも市の補助はないのでしょうか。
- 町内の活動費だけでは活動できない。操法大会が2年に1回になったので、少しは活動費が無くならず済みます。将来は操法大会がなくなれば団員も増えるはず。
- 活動報酬を倍増。

【PR活動の推進】

- 火災消火活動中に暴言を言われたことが何度かある。車(ポンプ車)をどかせ、邪魔など。暴言を吐かれるという事は、消防団への理解度が市民にまだまだ足りないと思う。消防団組織がなぜあるのか。消防団がなぜ必要なのか。消防団が無くなると市民にどれだけ負担がかかるのか。消防団経験者の市長、県議に、市民に向けての講演などをお願いしたい。クレームも減ると思う。
- 町会や町会費負担者への理解を高める活動を積極的にしてほしい。無理ならその分を市が負担してほしい。
- もっと女性消防団として活動したい。太鼓演奏などでPRしたい。
- 市が新規団員を得る為に住民への呼びかけ、ハガキでの案内、成人式での呼びかけなどもっと協力してほしいです。年に一度で良いので、消防所からの分団単位での訓練を行ってほしい。防災フェアの復活で、もっと一般の方が参加しやすいイベントの様な物にして、そこで入団者の募集、住民への理解を行ってください。

【その他】

- 何かしらのレクリエーションとかがあるといいです。
- 時代に合わせた改革に期待します！

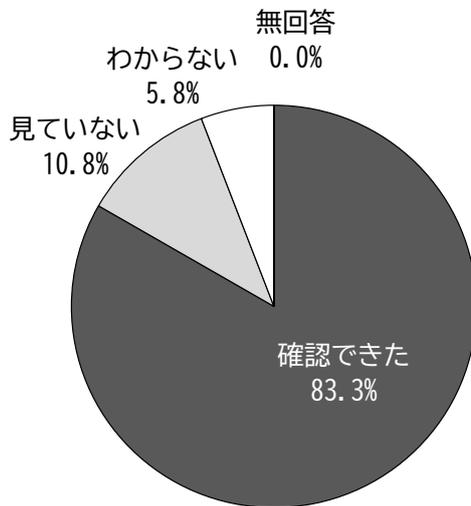
- 消火栓の設備が古いのを、改修してほしい。
- 消火栓などの地域格差を、どのようにお考えですか。
- 市役所等は団員勧誘を推進してください。あと、この書類が届きましたが、アンケートの中に性別、年齢等ありましたが、それはわかっているのでは？もう一つ、国、政治家がダメなので消防団は消滅します。
- 今回のアンケートで様々な意見・提案が検出されると思いますので、それらのデータを基に今後の消防団の継続・存続に活かしてください。
- 消防団のLINE@が出来たらと思います。
- 元団員が自身の子を入団させないといった事が多々あり、地域の協力が全く得られていない。
- 以前のように、夜警時に火災予防を呼びかける音声を流せるよう、道路専用許可申請を市がとりまとめして申請してほしい。新車両には、音声が内蔵されているのにも関わらず、使用しないのは勿体無い。

Ⅲ. 消防団員アンケート調査結果 【2回目】

1. 消防団応援の店制度について

問1 第1回アンケート調査時に、チラシ「消防団応援の店加盟店舗一覧 MAP」を同封させていただきましたが、応援の店登録店や所在地について確認できましたか。

応援の店登録店や所在地については、「確認できた」が83.3%と最も多く、次いで、「見ていない」が10.8%、「わからない」が5.8%となっています。

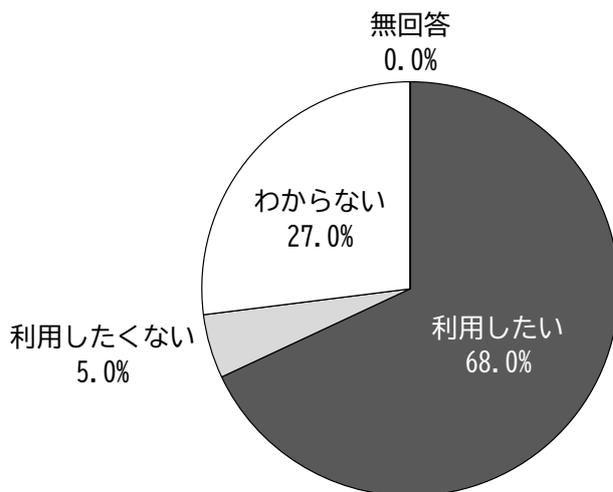


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------|-----|--------|
| 確認できた | 100 | 83.3% |
| 見ていない | 13 | 10.8% |
| わからない | 7 | 5.8% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 120 | 100.0% |

問1で「確認できた」を選択した方のみ回答

問1-1 今後、チラシに掲載しているお店を利用したいと思いますか。

今後、チラシに掲載しているお店を利用したいかについては、「利用したい」が68.0%と最も多く、次いで、「わからない」が27.0%、「利用したくない」が5.0%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| 利用したい | 68 | 68.0% |
| 利用したくない | 5 | 5.0% |
| わからない | 27 | 27.0% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 100 | 100.0% |
| 非該当 | 20 | |
| 合計 | 120 | |

問1-1で「利用したくない」を選択した方のみ回答

問1-2 どのようなお店なら利用したいと思いますか。

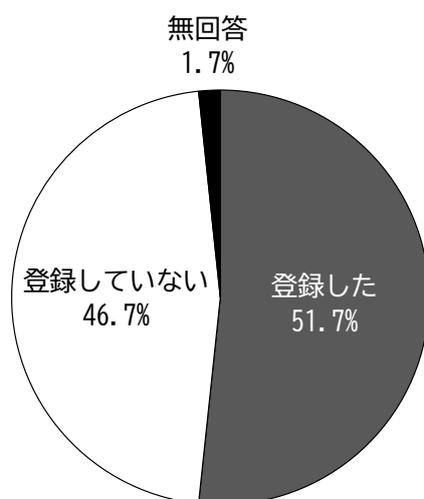
どのようなお店なら利用したいと思うかについては、「スーパーマーケット」が4件と最も多く、次いで、「飲食店」、「ホームセンター」、「コンビニ」、「ドラッグストア」がそれぞれ3件となっています。

| 項目 | 度数 | 比率 |
|-----------|-----|-------|
| 飲食店 | 3 | 60.0% |
| ホームセンター | 3 | 60.0% |
| スーパーマーケット | 4 | 80.0% |
| 家電量販店 | 2 | 40.0% |
| ガソリンスタンド | 2 | 40.0% |
| コンビニ | 3 | 60.0% |
| ドラッグストア | 3 | 60.0% |
| 書店 | 0 | 0.0% |
| その他 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 5 | |
| 非該当 | 115 | |
| 合計 | 120 | |

※回答者数が少ない為、グラフ省略。

問2 第1回アンケート調査時に、「デジタル会員証の作成方法」を同封させていただきましたが、デジタル会員証への登録はしましたか。

デジタル会員証への登録については、「登録した」が 51.7%に対し、「登録していない」が 46.7%となっています。

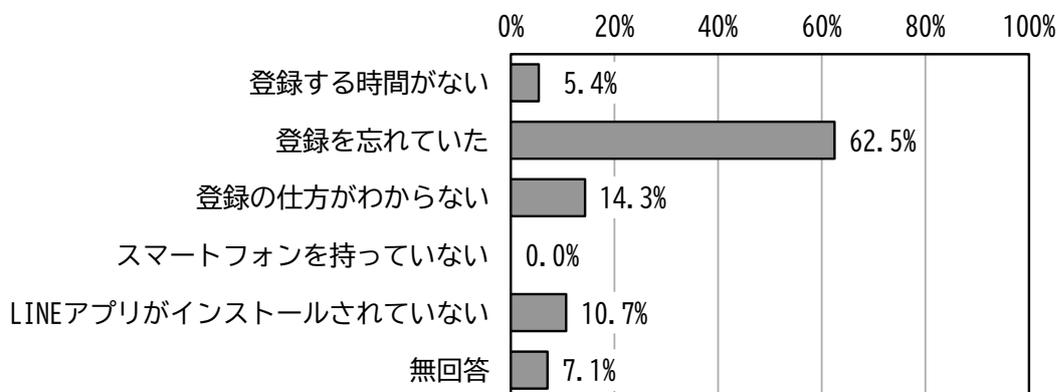


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| 登録した | 62 | 51.7% |
| 登録していない | 56 | 46.7% |
| 無回答 | 2 | 1.7% |
| 合計 | 120 | 100.0% |

問2で「登録していない」を選択した方のみ回答

問2-1 登録していない理由は何ですか。

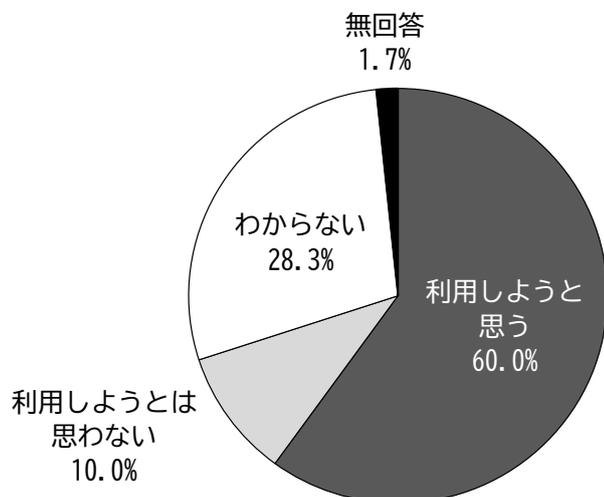
登録していない理由については、「登録を忘れていた」が62.5%と最も多く、次いで、「登録の仕方がわからない」が14.3%、「LINEアプリがインストールされていない」が10.7%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|----------------------|-----|--------|
| 登録する時間がない | 3 | 5.4% |
| 登録を忘れていた | 35 | 62.5% |
| 登録の仕方がわからない | 8 | 14.3% |
| スマートフォンを持っていない | 0 | 0.0% |
| LINEアプリがインストールされていない | 6 | 10.7% |
| 無回答 | 4 | 7.1% |
| 回答者数 | 56 | 100.0% |
| 非該当 | 64 | |
| 合計 | 120 | |

問3 今後、デジタル会員証で消防団応援の店を利用しようと思いますか。

今後、デジタル会員証で消防団応援の店を利用しようと思うかについては、「利用しようと思う」が60.0%と最も多く、次いで、「わからない」が28.3%、「利用しようとは思わない」が10.0%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| 利用しようと思う | 72 | 60.0% |
| 利用しようとは思わない | 12 | 10.0% |
| わからない | 34 | 28.3% |
| 無回答 | 2 | 1.7% |
| 合計 | 120 | 100.0% |

問3で「利用しようとは思わない」を選択した方のみ回答

問3-1 その理由を教えてください。

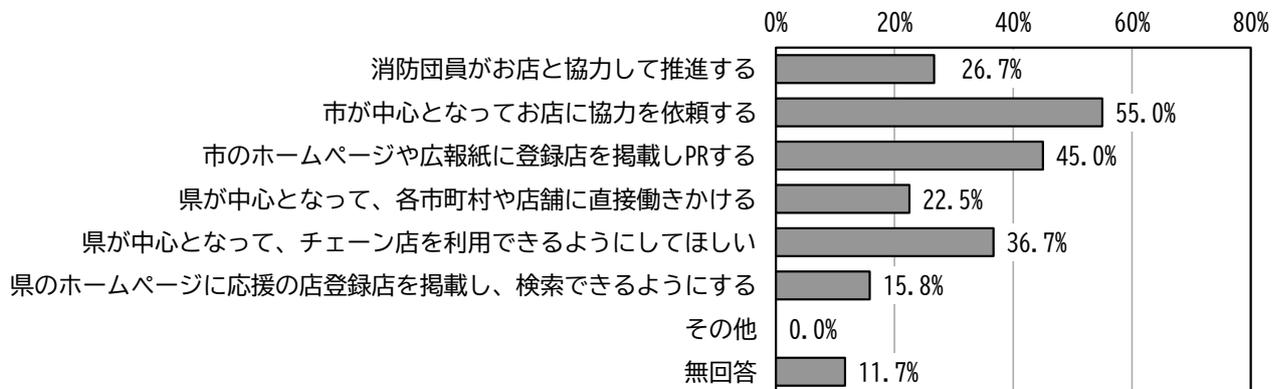
利用しようと思わない理由については、「利用したいお店がない」が7件と最も多く、次いで、「サービス内容に魅力を感じない」が1件となっています。また、「その他」が3件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|----------------|-----|-------|
| 利用したいお店がない | 7 | 58.3% |
| サービス内容に魅力を感じない | 1 | 8.3% |
| その他 | 3 | 25.0% |
| 無回答 | 1 | 8.3% |
| 回答者数 | 12 | 99.9% |
| 非該当 | 108 | |
| 合計 | 120 | |

※回答者数が少ない為、グラフ省略。

問4 今後、消防団応援の店の登録店舗を増やすためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

今後、消防団応援の店の登録店舗を増やすために必要な取り組みについては、「市が中心となってお店に協力を依頼する」が55.0%と最も多く、次いで、「市のホームページや広報紙に登録店を掲載しPRする」が45.0%、「県が中心となって、チェーン店を利用できるようにしてほしい」が36.7%となっています。

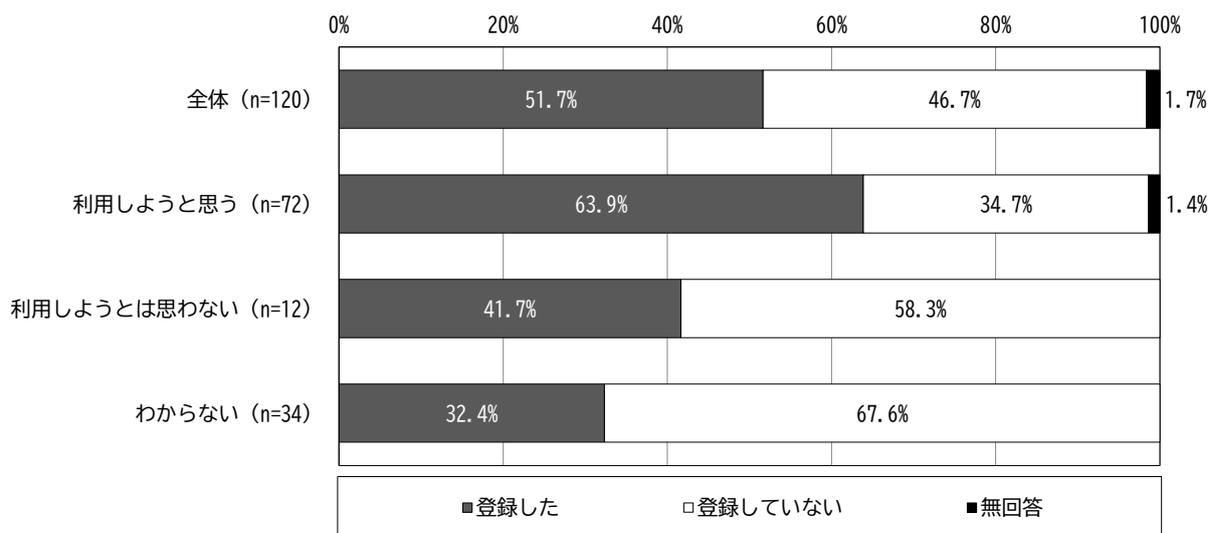


| 項目 | 度数 | 比率 |
|---------------------------------|-----|-------|
| 消防団員がお店と協力して推進する | 32 | 26.7% |
| 市が中心となってお店に協力を依頼する | 66 | 55.0% |
| 市のホームページや広報紙に登録店を掲載しPRする | 54 | 45.0% |
| 県が中心となって、各市町村や店舗に直接働きかける | 27 | 22.5% |
| 県が中心となって、チェーン店を利用できるようにしてほしい | 44 | 36.7% |
| 県のホームページに応援の店登録店を掲載し、検索できるようにする | 19 | 15.8% |
| その他 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 14 | 11.7% |
| 回答者数 | 120 | |

問5 その他、消防団応援の店制度について意見がありましたら、自由に記入してください。

- 全国のお店で使える仕組みとか、スタンプラリーみたいに使ったお店の記録が残って（チェックイン機能）、その個数によってゴールド会員、プラチナ会員みたいにランクアップして割引が広がる、そんな形があれば面白いかと思います。
- 市全体の店でないとだめですね。
- 個人の意見。お店は普通に利用させてもらいますが、サービスは望みません。
- 市民にも広く知られたらいいと思う。市内のチェーン店も利用させてほしい。
- 魅力的なサービスが少ないと思います。家族で利用できるか子供向けのサービスがあれば、若い団員の勧誘にも役立てると思うので、よろしく願います。
- 大型店舗やショッピングモール等で使えるようになると、利用者数も増えるのではないだろうか。
- 消防団活動の中で、消防団応援の店制度は、あまり影響を及ぼさない（あってもなくても、どうでも良い）制度であると感じます。
- 所属の市のみならず、広域でも優遇を受けられると良いと思う。小さい市町村は、店も少なくあまり使用する頻度もないのでお得感はないです。
- 飲食店をもっと増やしてほしい。
- 本当に申し訳ありませんが、旧市街に魅力的なお店は少なく、買物はほぼしません。佐貴地区竜ヶ岡地区に集中した方が良いと思います。旧市街は、”文教地区としての開発”あるいは、オフィス街が適当かと思われます。なので、各地域を結ぶ”通路網の整備、開発”が急がれます。でないと、龍ヶ崎市は、”陸の孤島”となるでしょう。ならば思い切って、古さを生かし、”江戸時代の街”として、市長は殿様装束、市職員はちょんまげにして職務を行い、インバウンドを呼び込みましょう。
- 団員の増員、店舗の活性、その他市の活性等。何を狙っているのか不明。何に対しての意見を求めているのかもわからない。
- JAFの会員特典を参考にすると、良い内容の応援加盟店になり、発展すると思います。
- アプリなどで、一覧が確認できると利用者は増えると思います。広報紙では、出先で確認できない為。利用したくない人の意見より、利用したい人の意見を反映した方がより良いものになると思います。
- もう少し魅力的なサービス内容だと良いと思います。
- まず消防団員を増やす方法を考えてほしい。
- 全国域で使用できればよいと思う。
- 龍ヶ崎市に住んでいないので、他の市町村でも使えるようになると嬉しい（チェーン店など）。
- 日常生活で使う店がない。
- 多少なりのサービスをしていただけるお店が増えると良いと思います。
- 加盟店舗を増やしていただきたい（家族で利用可能）。サービス内容をもっと増やしていただきたい（現在の内容では、魅力を感じない）。

問3 今後、デジタル会員証で応援の店を利用するか×問2 デジタル会員証への登録



問3 今後、デジタル会員証で応援の店を利用するか×問4 応援の店の登録店舗を増やすために必要な取り組み

(上段：度数、下段：比率)

| | 消防推進員がお店と協力し | 市が中心となつてお店に協力を依頼する | 紙のホームページやPR掲載し | 市のホームページやPR掲載し | 各町や店舗に直接働きかける | 県が中心となつて、 | 市が中心となつて、 | 県が中心となつて、 | 県のホームページに掲載し、 | 検索できるようにする | 他の | 無回答 | 回答者数 |
|-------------|--------------|--------------------|----------------|----------------|---------------|-------------|-----------|-------------|---------------|------------|----|-----|------|
| 全体 | 32 26.7% | 66 55.0% | 54 45.0% | 27 22.5% | 44 36.7% | 19 15.8% | 0 0.0% | 14 11.7% | 120 | | | | |
| 利用しようと思う | 25 34.7% | 42 58.3% | 34 47.2% | 16 22.2% | 27 37.5% | 13 18.1% | 0 0.0% | 7 9.7% | 72 | | | | |
| 利用しようとは思わない | 3 25.0% | 10 83.3% | 4 33.3% | 5 41.7% | 7 58.3% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 8.3% | 12 | | | | |
| わからない | 4 11.8% | 14 41.2% | 16 47.1% | 6 17.6% | 10 29.4% | 6 17.6% | 0 0.0% | 4 11.8% | 34 | | | | |

龍ヶ崎市消防団の実態に関する
アンケート調査報告書
令和8年2月

龍ヶ崎市 総務部 防災安全課
〒301-8611 茨城県龍ヶ崎市 3710 番地
TEL : 0297-64-1111 (内線 350・351)
